

デジタル ビデオカメラ レコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Digital Handycam

C/M Cassette Memory



InfoLITHIUM™



MEMORY STICK™

DCR-PC100

とにかく
撮って見る
4ページ～

準備
6ページ～

撮る
11ページ～

見る
21ページ～

使いこなす
- 撮影
27ページ～

使いこなす
- 再生
41ページ～

編集する
51ページ～

お買い上げ時の
設定を変える
74ページ～

“メモリス
ティック”を使う
83ページ～

その他
115ページ～

検索する
133ページ～

目次

とにかく撮って見る	4
-----------------	---

準備

準備1 電源を準備する	6
バッテリーを充電する	6
バッテリーを取り付ける	8
コンセントにつないで使う	9
準備2 カセットを入れる	10

撮る

撮影する	11
逆光補正をする	17
暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット)	17
セルフタイマー録画	19
最後に撮影した部分に戻る - エンドサーチ	20

見る

再生する	21
テレビで見る	25

使いこなす

撮影

テープに静止画を撮る - テープフォト撮影	27
自然な色あいに調節する - ホワイトバランス	30
横長の画面にする - ワイドTVモード	31
効果的な場面転換をする - フェーダー	32
画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト	34
特殊な演出を加えて撮る - デジタルエフェクト	35
撮影状況に合わせて撮る - プログラムAE	37
手動で画像の明るさを調節する	39
手動でピントを合わせる	40

使いこなす

再生

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る	41
画像にデジタルエフェクトを加えて見る	42
見たい場面にすばやく戻す - ゼロセットメモリー	43
タイトル場面を頭出しする - タイトルサーチ	44
撮影日で頭出しする - 日付サーチ	46
見たい静止画を探す - フォトサーチ/フォトスキャン	48

必ずお読みください

お使いになる前に

別売りのアクセサリキットについて
本機をお使いになるには、別売りのアクセサリキットが必要です。
お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリキットの取扱説明書をご覧ください。

CM カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能
エンドサーチ(20、24ページ)
「撮影日で頭出しする - 日付サーチ」(46ページ)
「フォトサーチ」(48ページ)

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能
「タイトル場面を頭出しする - タイトルサーチ」(44ページ)
「タイトルを入れる」(66ページ)
「オリジナルタイトルを作る」(70ページ)
「カセットになまえを付ける - カセットラベル」(72ページ)
詳しくは115ページをご覧ください。

CM のみ

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはマークが付いています。

ためし撮り

必ず事前のためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

編集する

他のビデオヘダビングする	51
DVテープに一部分ダビングする - DVシンクロエディット	53
ビデオやテレビから録画する	56
撮影したテープに新しく画像を挿入する	60
記録済みテープに音声を追加する - アフレコ	63
タイトルを入れる	66
オリジナルタイトルを作る	70
カセットになまえを付ける - カセットラベル	72

お買い上げ時の設定を変える

メニューで設定を変える	74
日付・時刻を合わせ直す	81

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”を使う - はじめに	83
“メモリースティック”に静止画を撮る - メモリーフォト撮影	90
静止画を重ねて撮る - メモリーミックス	94
ミニDVテープの画像を静止画として取りこむ	97
ミニDVテープの静止画を自動記録する - オートフォトコピー	99
静止画を見る - メモリーフォト再生	101
“メモリースティック”で撮った画像をミニDVテープにダビングする	104
静止画を順番に自動再生する - スライドショー	106
大事な画像を残す - プロテクト	108
画像を消す - 消去	110
プリントマークを付ける - プリントマーク	113

その他

使えるビデオカセット	115
本体に取り付けたバッテリーを充電する	117
故障かな?と思ったら	119
自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら	126
警告表示とお知らせメッセージ	127
海外で使う	129
お手入れ	130
主な仕様	132
保証書とアフターサービス	132

検索する

各部のなまえ	133
主な機能ガイド	138
索引	139

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

液晶画面やカラーファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません(有効画素99.99%以上)。これらの点は、テープに記録されません。液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

モジュレーション トランスファー ファンクション ファクター
* Modulation Transfer Function/Factorの略。
被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

とにかく撮って見る

準備

撮る

見る

使いこなす撮影

使いこなす再生

編集する

お買い上げ時の設定を変える

“メモリースティック”を使う

その他

検索する

とにかく撮って見る

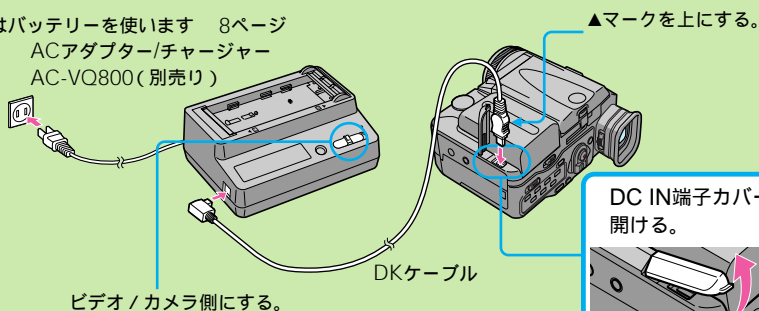


ここでは本機の使いかたを簡単に説明します。
詳しくは()内のページをご覧ください。

1

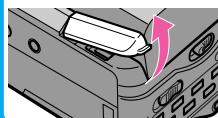
電源をつなぐ(9ページ)

屋外ではバッテリーを 사용합니다 8ページ
ACアダプター/チャージャー
AC-VQ800(別売り)



ビデオ/カメラ側にする。

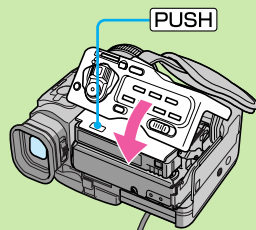
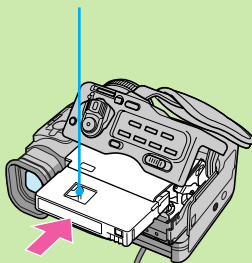
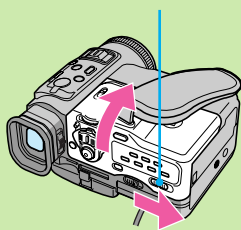
DC IN端子カバーを
開ける。



2

カセットを入れる(10ページ)

- 1 開く/カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。
- 2 カセットの背の中央部を押し、テープ窓を上にして入れる。
テープ窓
- 3 **PUSH** マークを押して、カセット入れを閉める。



- 4 カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

3 撮影する (11ページ)

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。

- 5 スタート/ストップボタンを押す。撮影が始まる。



もう1度押すと止まる。

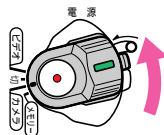
- 4 液晶画面OPENボタンを押して液晶画面を開ける。

- 1 レンズキャップをはずす。

- 2 スタート/ストップモードスイッチがONになっているか確認する。

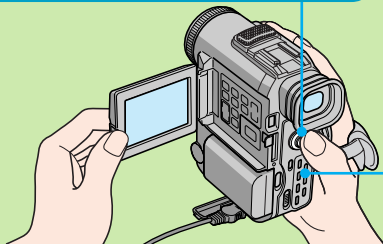
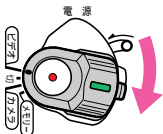


- 3 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。



4 液晶画面で見る (21ページ)

- 1 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。



- 2 ◀◀ 巻戻しを押してテープを巻き戻す。

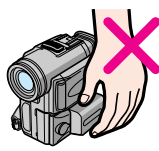
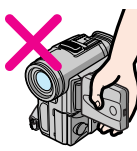
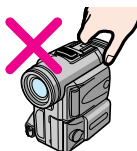


- 3 ▶▶ 再生を押すとテープが再生される。



ご注意

ファインダーや液晶画面、バッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。



とにかく撮って見る

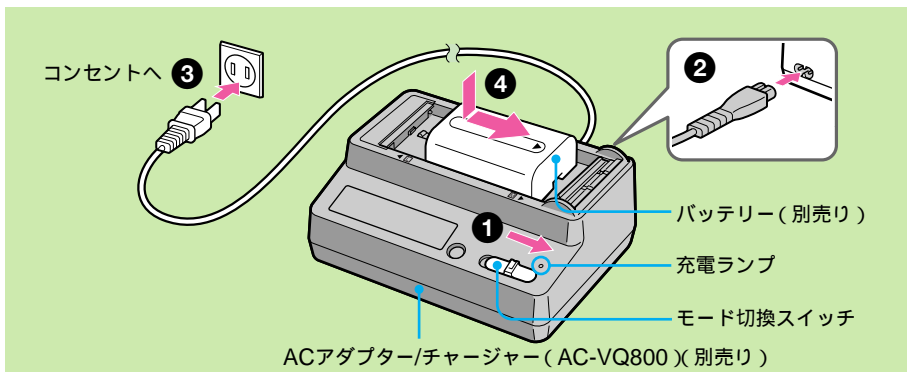
準備1 電源を準備する

バッテリーを充電する

ACアダプター/チャージャー(別売り)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

バッテリーは充電してからお使いください。


本機の電源には、別売りの“インフォリチウム”バッテリー(Mシリーズ)を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。



ご注意

- 充電する場合はACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「充電」側にしてください。「ビデオ/カメラ」側にしていると充電できません。
- バッテリーは水に濡らさないでください。
- バッテリーを長期間使用しないときは、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから、涼しい場所で保管してください。

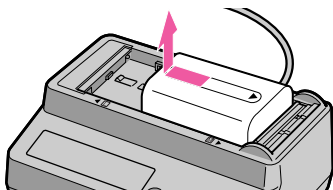
海外でも充電できます
詳しくは129ページをご覧ください。

- 1 モード切換スイッチを「充電」にする。
- 2 電源コードをつなぐ。
- 3 コンセントにつなぐ。
- 4 バッテリーを押しながら矢印の方向にずらし取り付ける。
充電が始まると、充電ランプが点灯する。
充電が終わると、表示窓のバッテリーマークがすべて点灯する「」(実用充電)。さらに充電ランプが消え、バッテリーマーク「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使える(満充電)。

“InfoLITHIUM(インフォリチウム)”バッテリーとは“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー(Mシリーズ)対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーMシリーズにはInfoLITHIUM Mマークがついています。InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。

ACアダプター/チャージャーの使用可能時間表示はファインダーを使って撮影するときの使用可能時間です。本機の残量時間表示と多少異なる場合がありますが、故障ではありません。

5 充電終了後、バッテリーをACアダプター/チャージャーから取りはずす。



充電時間

バッテリー	満充電時間(実用充電時間)
NP-FM50	105(45)
NP-FM70	150(90)
NP-FM90	195(135)

使い切ったバッテリーを充電したときの時間(約 分)

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-FM50	125(110)	70(60)	110(100)	60(55)
NP-FM70	265(235)	150(135)	230(210)	130(120)
NP-FM90	400(360)	230(210)	355(315)	205(180)

満充電(()内は実用充電)してからの時間(約 分)

* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなる場合があります。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50	130(115)	155(140)
NP-FM70	270(245)	320(290)
NP-FM90	410(370)	490(440)

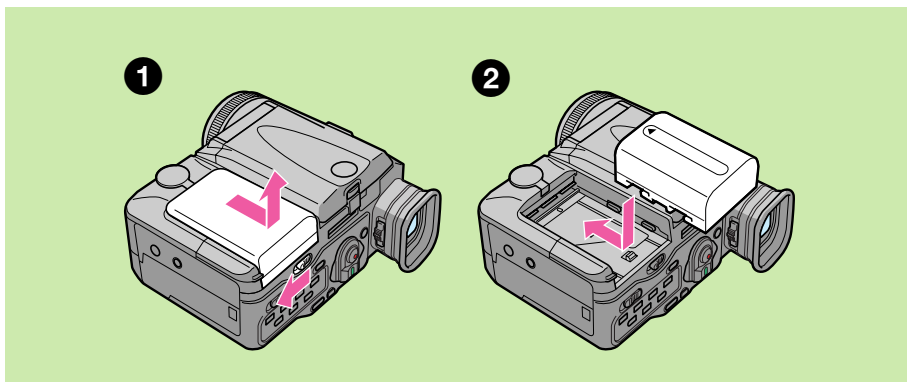
満充電(()内は実用充電)してからの時間(約 分)

低温では使用時間が短くなります。

準備1 電源を準備する(つづき)

バッテリーを取り付ける

本機を屋外で使用するときは、バッテリーを取り付けます。



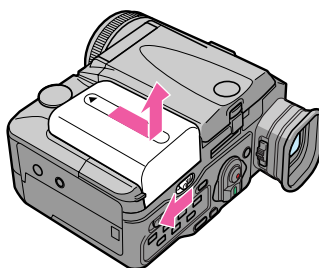
バッテリー残量時間表示
連続撮影時間の目安を液晶画面、またはファインダーに表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間(分単位)を表示するのに約1分かかります。

本機を保管するときは
バッテリー端子を保護するため、バッテリー端子カバーを取り付けてください。

- 1 バッテリー取りはずしつまみをずらしながら、バッテリー端子カバーを取りはずす。
- 2 バッテリーを押しながら、矢印の方向へずらして取り付ける。

バッテリーを本体から取りはずす

手順1と同様に取りはずす。



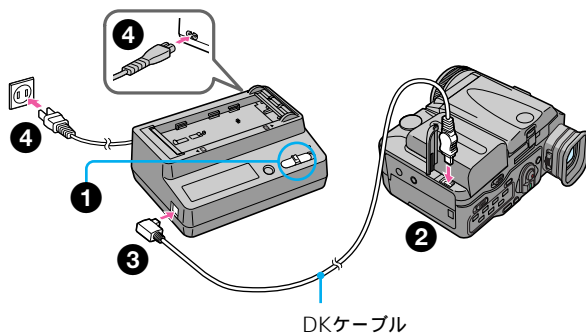
コンセントにつないで使う

ご注意

- コンセントにつないで使う場合は、ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」側にしてください。「充電」側にしていると電源は供給されません。
- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

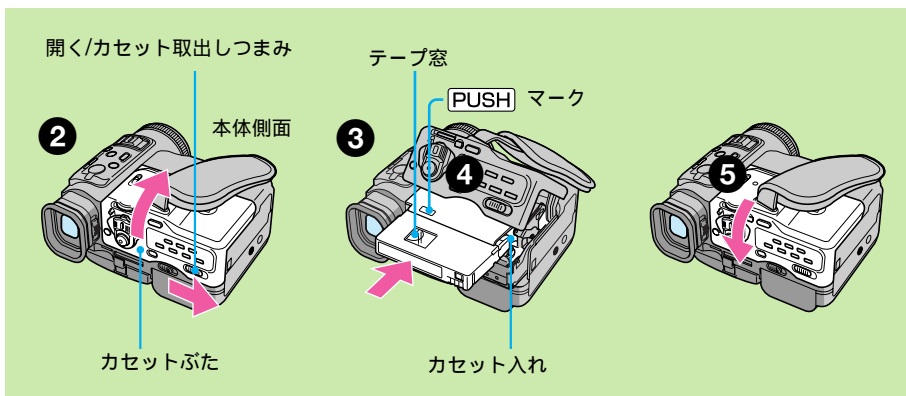
自動車の電源では別売りのDCアダプター/チャージャーでお使いになります。

テープを再生するときなど長時間使用するときには、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。



- ① ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」側にする。
- ② DKケーブルを本機のDC IN端子につなぐ。
DC IN端子カバーを開け、DKケーブルのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。
- ③ DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- ④ 電源コードをACアダプター/チャージャーとコンセントにつなぐ。

準備2 カセットを入れる

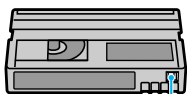


ご注意

カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。[PUSH] マーク以外の部分を押し続けているとカセット入れが閉まらないことがあります。

カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のときカセットメモリー機能を正しくお使いいただくために115ページをご覧ください。

間違っても消さないためにカセットの背にある誤消去防止つまみを横にずらさず「赤」にします。



録画できない 録画できる
(誤消去防止状態)

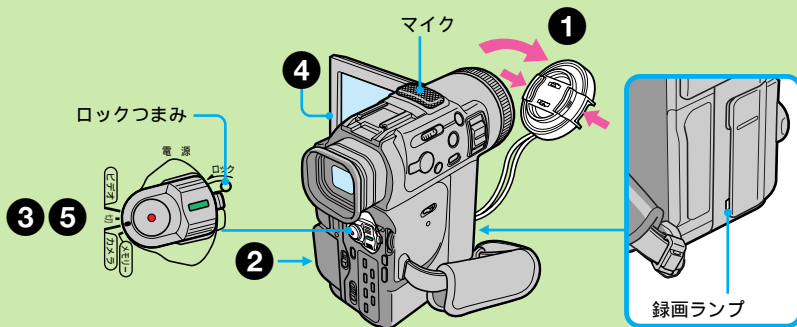
- ① バッテリーまたはACアダプター/チャージャーをつなぐ。
ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチは「ビデオ/カメラ」にする。
- ② 開く/カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。
カセット入れが自動的に出て開く。
- ③ カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。
テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押し込む。
- ④ [PUSH] マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に引き込まれる。
- ⑤ カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



ご注意

グリップベルトをしっかり締めてください。
マイクに手が触れないようにしてください。

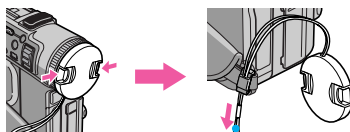
長時間録画したいときはメニューの「録画モード」を「LP」にします。(74ページ) 録画時間がSP(標準)モードの1.5倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのためにカセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はきれいにつながります。また、以下の点にご注意ください。

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切」にしてから行う。
- SPモードでの撮影とLPモードでの撮影を同じテープに混在させない。

カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後もエンドサーチ(20ページ)を使うと、きれいにつながります。

1 レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

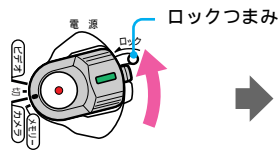


このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

2 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1、2」(6~10ページ)をご覧ください。

3 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。撮影スタンバイになる。



ロックつまみについて

ロックつまみを左側(ロック)にすると、気付かぬうちに電源スイッチが「メモリー」になるのを防ぎます。(お買い上げ時は右側(解除)になっています。)

撮影する(つづき)

撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消費を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを一度「切」にしてから、「カメラ」に戻します。

次のようなときは

つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。

- テープの途中で録画モード (SP/LP) を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は

屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでのご使用をおすすめします。

角度の調節は必ず90°まで開いてから行ってください。

対面撮影では

液晶画面に映る画像は左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は

リモコンのゼロセットメモリーボタンは動きません。

対面撮影中の表示

撮影スタンバイ中は●●●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

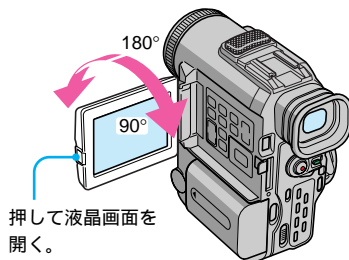
④ 液晶画面OPENボタンを押して液晶画面を開ける。

⑤ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。録画ランプが点灯する。もう1度押すと止まる。



液晶画面を調整する



液晶画面は90°まで開きます。また、レンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。

撮影スタンバイ中に液晶画面を180°回転させると、ファインダーと液晶画面に☺が出ます。(対面撮影モード)


液晶画面を閉じるときは、液晶画面を垂直にしてから、カチッというまで本体に向かって閉じます。

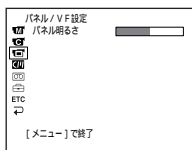
液晶画面を使って撮影するときのバッテリーの使用時間はファインダーを使った撮影時間より若干短くなります。


液晶バックライトの明るさはメニューの「パネルバックライト」で調節することができます。(74ページ)

「パネル明るさ」「パネルバックライト」は調節しても記録される画像に変化はありません。

液晶画面の明るさを調節する

- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にメニューで  の項目の「パネル明るさ」を選ぶ。(74ページ)



- 2 選択 /  決定ダイヤルを回して、バーで調節する。



撮影が終わったら

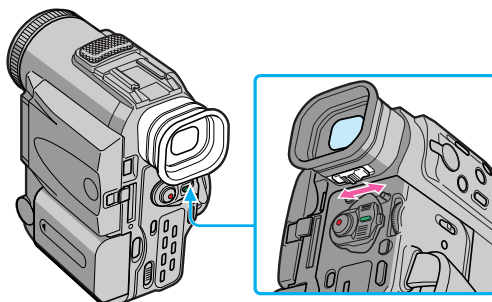
- 1 電源スイッチを「切」にする。
- 2 液晶画面を閉じる。
- 3 カセットを取り出す。
- 4 バッテリーを取りはずす。
- 5 バッテリー端子カバーを取り付ける。

撮影する(つづき)

ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調節します。

視度調節つまみを動かす。



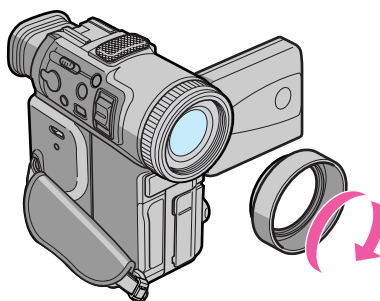
ご注意

- ワイヤレスリモコンをご使用になる場合、リモコン操作する位置によってはレンズフードがリモコンの赤外線のをさえぎり、リモコンで操作できなくなることがあります。このようなときはレンズフードを取りはずしてお使いください。
- レンズフードの上からフィルターなどを取り付けることはできません。

別売りのフィルターなどを使用しているときは画像の四隅にフードの影が映る(ケラレが出る)ことがあります。

付属のレンズフードを取り付ける

晴れた日の屋外など、強い光源のあるところではレンズフードを取り付けることをおすすめします。



レンズフードの上からでもレンズキャップをつけることができます。

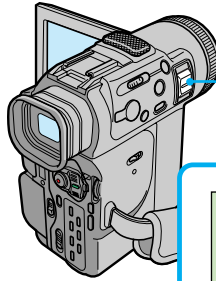
近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして
広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて

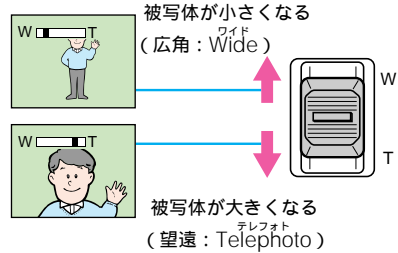
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は40倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。
- 電源スイッチを「メモリー」にすると、デジタルズームは使えません。

ズームする

ズームレバーを動かす。



軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。
(使いすぎると見づらい映像になります。)



10倍を超えるズームは


メニューで「デジタルズーム」を「入」にします。お買い上げ時は「切」になっています(74ページ)。デジタルズームは画像をデジタル処理するため、画質が低下します。


このラインよりT側が
デジタルズームになります。
メニューで「デジタルズーム」を
「入」にすると表示されます。



撮影する(つづき)

ご注意

- 「5秒」「

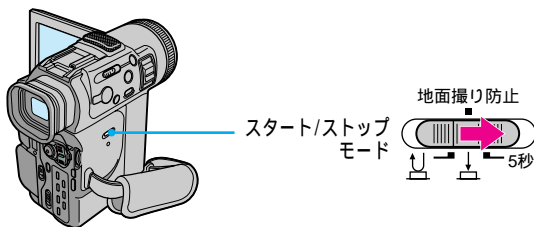
スタート/ストップモードで「5秒」を選んだときファインダーに「


タイムコードについて
ファインダーと液晶画面にテープ走行時間が「0:00:00」(時:分:秒)と出ます。ビデオモードのときには「0:00:00:00」(時:分:秒:フレーム)と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。


テープの残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

撮影日時は画面には出ません。
自動でテープ上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

スタート/ストップモードを選ぶ



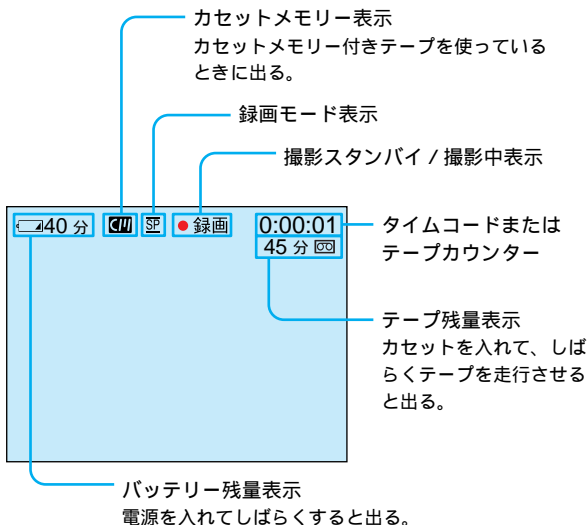
 : スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります(お買い上げ時の設定)。

 地面撮り防止 :
スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。地面などを撮り続けてしまうのを防ぎます。

5秒 : スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

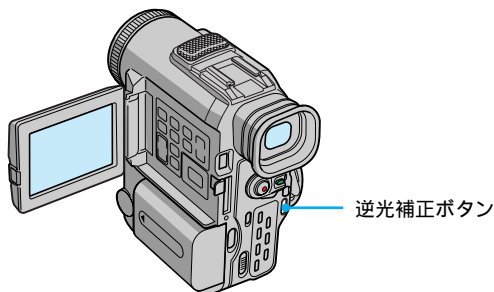


逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを押すと(39ページ)
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映るときなどに明るさの補正をします。

撮影スタンバイ中または撮影中に逆光補正ボタンを押す。
液晶画面またはファインダーに逆光補正表示圏が出ます。逆光補正ボタンをもう1度押すと解除されます。



暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット)

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合にくいときは、マニュアルフォーカスをご使用ください。
- NIGHTSHOTで撮影中は、指などで赤外線発光部を隠してしまわないようご注意ください。
- NIGHTSHOTで撮影するとき、レンズフードがNIGHTSHOTライトの光をさえぎることがあります。NIGHTSHOT撮影をするときは、レンズフードを取りはずしてください。

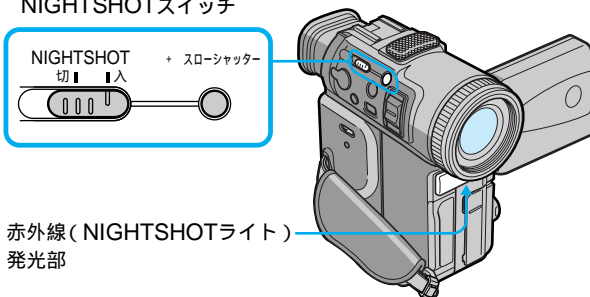
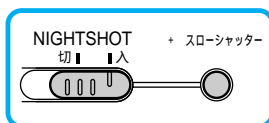
夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所でも撮影することができます。

撮影スタンバイ中にNIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

液晶画面またはファインダー内にNIGHTSHOT表示 \square と
"NIGHTSHOT"が点滅します。

NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

NIGHTSHOTスイッチ



撮影する(つづき)

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

- 明るさ調節
- プログラムAE
- ホワイトバランス
- フェーダー*
- デジタルエフェクト*

* +スローシャッターを使っているときのみ操作できません。

NIGHTSHOT +スローシャッター時のシャッタースピードは

表示 シャッタースピード

 1("NIGHTSHOT1") 1/15

 2("NIGHTSHOT2") 1/4

以下の操作中は+スローシャッターボタンが動きません


- フェーダー予約、フェーダー中
- デジタルエフェクト時
- NIGHTSHOTスイッチが「切」のとき
- 電源スイッチを「メモリー」にしているとき

NIGHTSHOTライトは赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。NIGHTSHOT +スローシャッターを使うとライトの有効距離は2倍以上になります。

NIGHTSHOT +スローシャッターを使う



+スローシャッターボタンを使うと、NIGHTSHOTの4倍以上の感度で被写体を明るく撮影することができます。



1 [撮影スタンバイ中]に
NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

液晶画面またはファインダー内にNIGHTSHOT表示が出ます。

2 希望のNIGHTSHOT表示が点滅するまで
+スローシャッターボタンを繰り返し押す。

表示は次のように変わります。

 ("NIGHTSHOT") →  ("NIGHTSHOT1") →

 ("NIGHTSHOT2") →  ("NIGHTSHOT")

NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。(74ページ)

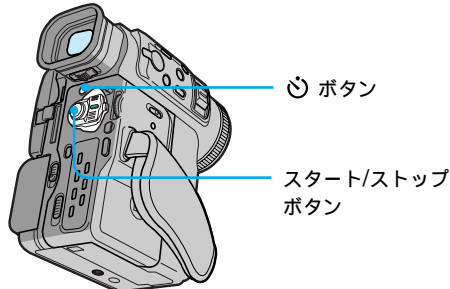
セルフタイマー録画

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。

- セルフタイマー録画を実行したあと。
- 電源スイッチを「切」か「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。自分を撮影したいときなどに使用してください。



1 [撮影スタンバイ中]に \odot (セルフタイマー)ボタンを押す。

セルフタイマー表示 \odot が出る。

2 スタート/ストップボタンを押す。

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が早くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まる。

秒読み中に撮影を止めるとき

スタート/ストップボタンをもう1度押す。リモコンを使うと便利です。

セルフタイマーで静止画を撮るとき

手順2でフォトボタンを押す。(28ページ)

セルフタイマーを使って“メモリースティック”に静止画を撮るとき

メモリーモード中に \odot (セルフタイマー)ボタンを押し、続いてフォトボタンを押す。(93ページ)

セルフタイマーを止めるとき

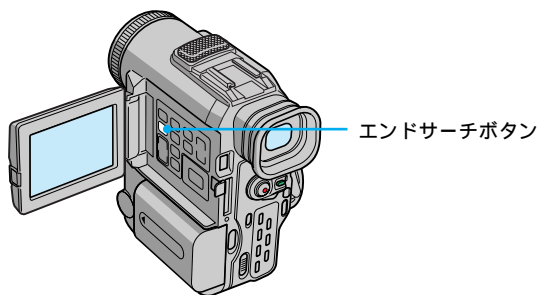
撮影スタンバイ中にもう1度 \odot (セルフタイマー)ボタンを押して、セルフタイマー表示 \odot を消す。

撮影する(つづき)

最後に撮影した部分に戻る - エンドサーチ

エンドサーチはカセットメモリーの付いていないカセットでは、一度取り出すと動きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチは動きません。ただし、テープの冒頭や途中で一度無記録部分を作ると正しく機能しないことがあります。(115ページ)

最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときや、最後に撮った場面を確認するときに使います。



[撮影スタンバイ中] に
エンドサーチボタンを押す。

撮影した画像の終わりの5秒間を再生して止まる。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。



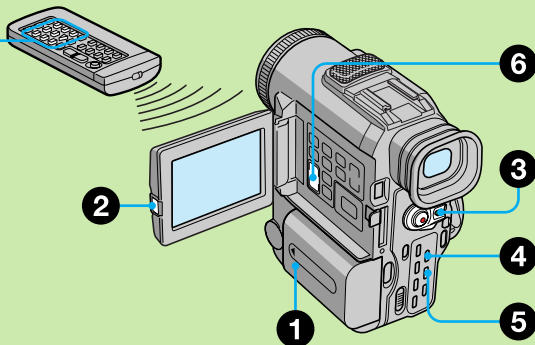
サーチを止める

もう1度エンドサーチボタンを押す。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。

リモコンでも操作できます。



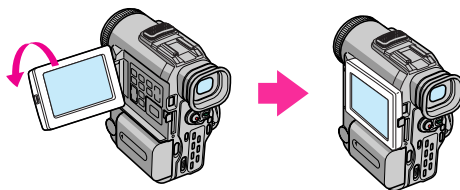
長時間電源を入れたままにしておくと
本体があたたかくなりますが
故障ではありません。

液晶画面を開けたり閉じたり
するときは
液晶画面を必ず垂直にしてか
ら行ってください。

① バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

② 液晶画面OPENボタンを押して、液晶画面を開ける。

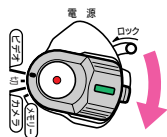
液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。




180°回転させる。


③ 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。

ビデオ操作ボタンが点灯する。

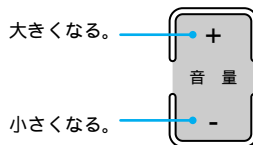


再生する(つづき)

4 ◀◀ 巻戻しボタンを押す。 巻戻し
巻き戻しが始まる。 

5 ▶▶ 再生ボタンを押す。 再生
画像が映る。 

6 音量ボタンを押して、音量を調節する。



再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

ご注意

“メモリースティック”を使って撮った画像には、カメラデータは記録されていません。

カメラデータとは撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

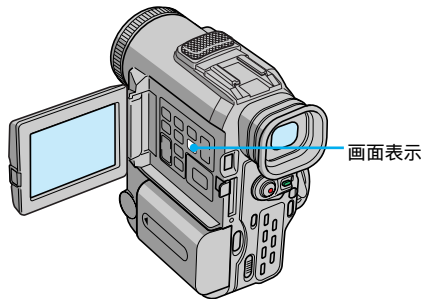
次のときは、----を表示します。

- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

データコードは本機をテレビにつないだときは、テレビ画面で確認することもできます。(25ページ)

画面表示を出したり消したりする

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。
液晶画面に表示が出る。
消すときはもう1度押す。

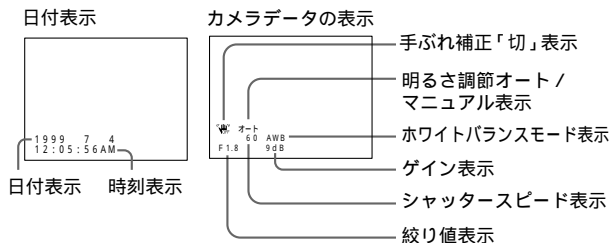


データコードについて

本機は撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています(データコード機能)。リモコンでのみ操作できます。

[再生中]に、リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」「カメラデータの表示」(表示なし)



カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。
(74ページ)

データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」↔(表示なし)

再生する(つづき)

エンドサーチはカセットメモリーの付いていないカセットでは、一度取り出すと動きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチが動きません。(115ページ)

変速再生中は音声は出ません。

一時停止(静止画)について5分以上続けると自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▶再生ボタンを押します。

スロー再生について本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただし、DV入力/出力端子を使って出力された画像にはこの機能は働きません。

逆方向再生について画面の上下や、中央に横縞が入ることがありますが、異常ではありません。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

静止画を見る

[再生中]に⏸一時停止ボタンを押す。

▶再生ボタンまたは⏸一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中]に▶▶早送りボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中]に◀◀巻き戻しボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

[再生中]にリモコンの◀ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする(ピクチャーサーチ)

[再生中]に▶▶早送り/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス)

[早送り中]または[巻き戻し中]に▶▶早送り/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

[再生中]にリモコンのスロー▶▶ボタンを押す。

逆方向にスロー再生するときは、リモコンの◀ボタンを押してからスロー▶▶ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る(倍速再生)

[再生中]にリモコンのX2ボタンを押す。

逆方向に倍速再生するときは、リモコンの◀ボタンを押してからX2ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見える

[再生一時停止中]にリモコンの⏸▶ボタンを押す。

逆方向にコマ送りするときは、◀⏸▶ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す(エンドサーチ)

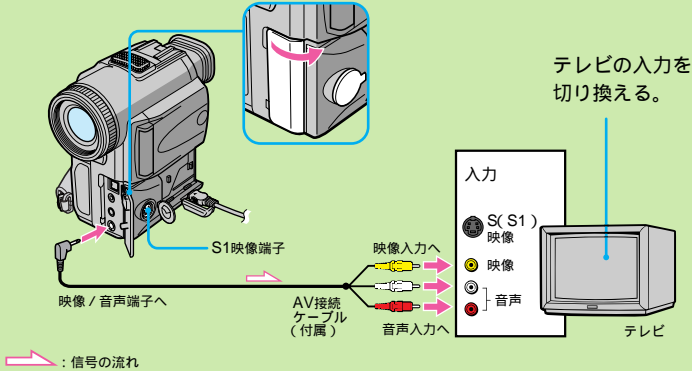
[停止中]にエンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は別売りのACアダプター/チャージャーを使って、コンセントからとることをおすすめします(9ページ)。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

ジャックカバーを開ける。



別売りのS映像ケーブルを使うと再生画像がより鮮明になります
テレビにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルで接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とテレビのS(S1)映像端子を接続します。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にしてください。

音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白か赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声、赤いプラグをつなぐと右音声がかかります。

モノラル音声で聞くときは別売りの接続ケーブルをお使いください。

テレビで見る(つづき)

ソニー製のテレビの場合は

- 電源について
本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定して、テレビの主電源を入れておくと、下記の2つの方法で自動的にテレビの電源を入れられます。
 - 赤外線発光部をテレビのリモコン受光部に向けて、LASER AVLINKボタンを押す。
 - LASER AVLINKボタンを点灯させて、▶再生ボタンを押す。
- 入力について
本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子(ビデオ1/2/3)と同じものに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。(テレビによっては、切り換わるときに一瞬画像や音声がとぎれることがあります。)
- 機種によっては操作できないことがあります。

LASER AVLINKを使うと

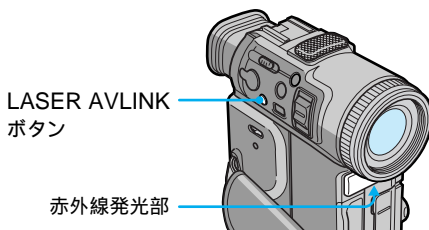
- バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときはLASER AVLINKを解除しておいてください。
- 本機とIRレシーバーの位置によっては、映りが悪くなることがあります。レンズフードを取り付けている場合は、レンズフードを取りはずしてください。

電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。

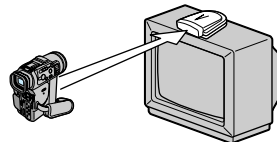
ケーブルを使わずに見る - LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。

詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。



- 1 テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。
- 3 LASER AVLINKボタンを押す。
ボタンのランプが点灯する。
- 4 本機の▶再生ボタンを押す。
再生が始まる。
- 5 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。
再生中の画像がきれいにテレビに映るように調整する。



LASER AVLINKを解除する

LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

テープに静止画を撮る - テープフォト撮影

ミニDVテープに静止画を記録できます。60分テープならSPモードで約510枚、LPモードで約765枚撮れます。

本機ではこのページの方法以外に、“メモリースティック”に静止画を記録することができます。(90ページ)

いつ使う?

- パソコンに静止画を取りこみたいとき
- ビデオプリンターでプリントしたいとき
- 後からテレビやモニターで記念写真のように見たいときなど。

ご注意

- フォト撮影中にモードや設定を変更することはできません。
- 以下の設定中や操作中は、フォト撮影できません。
 - フェーダー
 - デジタルエフェクト

リモコンのフォトボタンで撮影すると

押したときに液晶画面またはファインダーに映っている画像が記録されます。

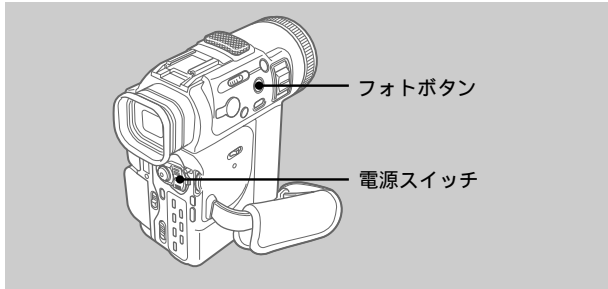
カメラ録画中にフォト撮影するとき

フォトボタンを軽く押して画像を確認することができます。フォトボタンを強く押し込んでください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

動きのある画像をフォト撮影で撮影すると

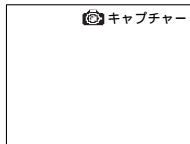
他の機器で再生したときに画像がぶれることがあります。故障ではありません。

ブレの少ない、美しい静止画を撮影するには“メモリースティック”を使った「メモリーフォト撮影」をおすすめします。



① 電源スイッチを「カメラ」にする。

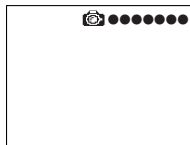
② [撮影スタンバイ中]に
フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。



画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

③ フォトボタンを強く押し込む。



録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中に液晶画面またはファインダーに映る画像は静止画となります。

使いこなす！撮影

テープに静止画を撮る - テープフォト撮影(つづき)

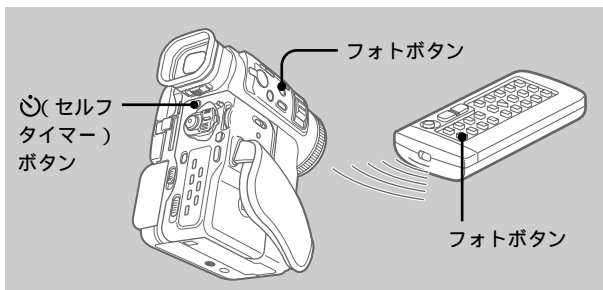
ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。

- セルフタイマーテープフォト撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切」か「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーテープフォト撮影

セルフタイマーを使って自分の静止画を撮影することができます。



1 電源スイッチを「カメラ」にする。

2 ☺(セルフタイマー)ボタンを押す。
セルフタイマー表示☺が出る。

3 フォトボタンを押す。

セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が早くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

秒読み中に撮影を止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度☺(セルフタイマー)ボタンを押して、セルフタイマー表示☺を消す。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

ミニDVテープに記録した静止画をパソコンに取りこむ

静止画を“メモリースティック”にコピーしてから、パソコンに取りこみます。詳しくは97～98ページをご覧ください。

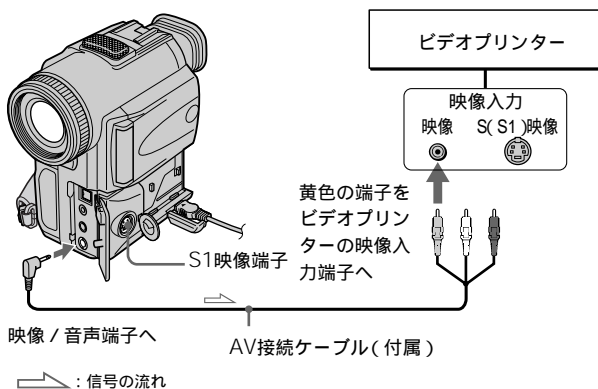
また、別売りのDV静止画キャプチャーカードキットDVBK-CW200(PC/AT互換機用)やDV静止画キャプチャーボードキットDVBK-W2000(PC/AT互換機用)、DVBK-M2000(Macintosh用)をご使用中の場合は、そちらもご利用になれます。

詳しくはDV静止画キャプチャーカードキットまたはDV静止画キャプチャーボードキットの取扱説明書をご覧ください。

ビデオプリンターにS(S1)映像入力端子がついているときは、別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取りこみプリントできます。



ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

自然な色あいに調節する - ホワイトバランス

明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように手で調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

いつ使う?

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るときなど。

スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は、☀(オクナイ)に設定して撮影することをおすすめします。

蛍光灯照明下で撮影する場合は、ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。☀(オクナイ)に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しく調節されない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで

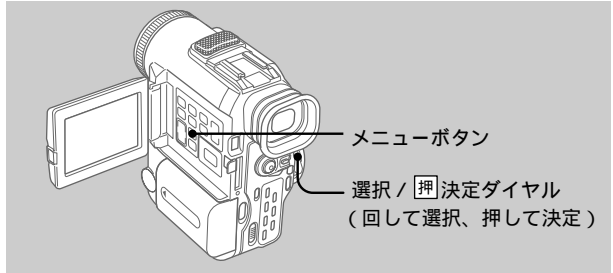
次のような場合は、電源スイッチを「カメラ」にしてから、本機を10秒間くらい白っぽい被写体に向けてとよりよい色あいに調節されます。

- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで

次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にして、しばらくしてから「ホールド」に戻してください。

- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき



[撮影スタンバイ中]または[撮影中] [メモリーモード中]に

メニューで希望のホワイトバランスモードを選ぶ。(74ページ)

☀(オクナイ)

- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

☀(オクガイ)

- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

HOLD(ホールド)

単一色の被写体や背景を撮るとき

自動調節に戻す

メニューの「ホワイトバランス」で「オート」を選ぶ。(74ページ)

横長の画面にする - ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドTVモード
で撮影



ファインダー/
液晶画面

通常のテレビで
再生*



*画像が縦長になります。

ワイドテレビで
再生*



テレビをフルモードに
切り換える



ワイドTVモード中は
オールドムービーは使えません。

録画中は

ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」してから、メニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

テレビの接続について

下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。

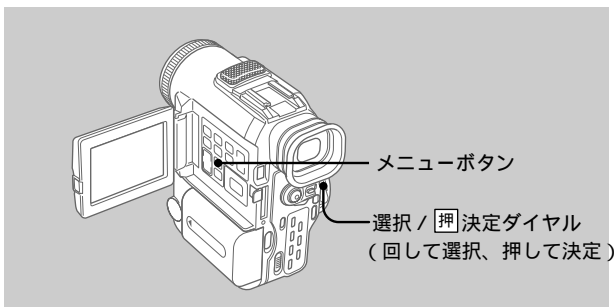
- ビデオIDシステム(ID-1/ ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS1 映像入力端子に接続したとき。

ID-1方式とは


ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比 16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムです。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

ID-2方式とは

ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。



[撮影スタンバイ中]に

メニューで  の項目の「ワイドTV」を「入」にする。(74ページ)

ワイドTVモードを解除する

メニューの「ワイドTV」で「切」を選ぶ。(74ページ)

使いこなすー撮影ー

効果的な場面転換をする - フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり(フェードイン) 逆に徐々に消

したり(フェードアウト)して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

フェーダー



オーバーラップ
(フェードインのみ)



フェードアウト

モノトーンフェーダー

フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。


ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。

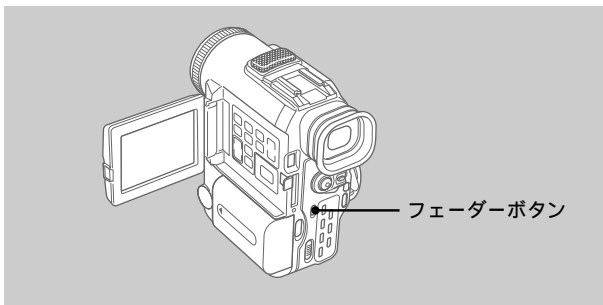
- デジタルエフェクト
- プログラムAEのキャンセルモード(オーバーラップのみ)
- NIGHTSHOT + スローシャッター
- フォト撮影

「オーバーラップ」を選べると本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中はオーバーラップ表示が早い点滅になり、再生画が出ます。

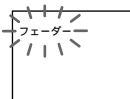
このとき、テープの状態によっては、きれいな画像が撮影できないことがあります。

スタート/ストップモードが「」または「5秒」のときフェードイン・フェードアウトはできません。

メモリーモードにしているときはフェードイン・フェードアウトはできません。



- 1 フェードインは[撮影スタンバイ中]に
フェードアウトは[撮影中]に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。



押すたびに変わります。
フェーダー→モノトーンフェーダー→
オーバーラップ→(表示なし)
表示は前回に使ったモードから表示されま
す。

- 2 スタート/ストップボタンを押す。
フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタート/ストップボタンを押す前にもう1度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。



ネガアート
写真のネガフィルムのように白黒を反転させて



ソラリ
明暗をはっきりさせたイラストのように



スリム
縦に引き伸ばしたように



ストレッチ
横に引き伸ばしたように



パステル
パステル画のような淡い色あいに

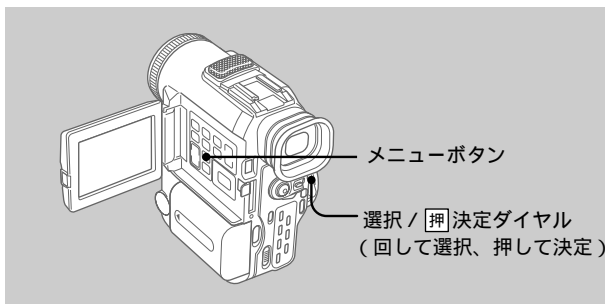


モザイク
タイルを組み合わせたように

セピア 古い写真のような色あいに モノトーン 白黒に

ピクチャーエフェクト中は
オールドムービーは選べませ
ん。

電源スイッチを「切」にする
と
ピクチャーエフェクトは自動
的に解除されます。



1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に
メニューで の項目の「ピクチャーエフェ
クト」を選ぶ。(74ページ)

2 希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。(74ページ)

特殊な演出を加えて撮る - デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル

あらかじめ取りこんだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

(スチル)

フラッシュ(フラッシュモーション)

コマ送り撮影をする。

ルミキー(ルミナンスキー)

あらかじめ取りこんだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

トレイル

被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター

シャッタースピードを落とす。暗いところで撮影しやすい。

オールドムービー

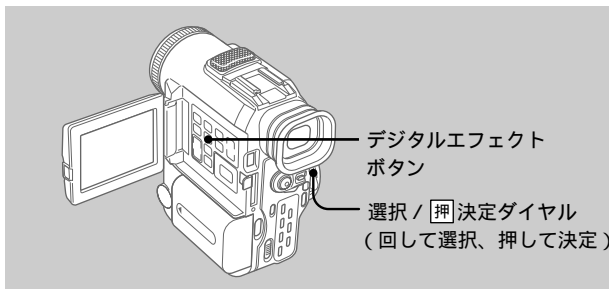
画面を横長、画像をセピア色にして、シャッタースピードを落とし撮影する。



ご注意

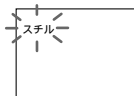
- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
 - フェーダー
 - プログラムAEのキャンセルモード
 - フォト撮影
 - NIGHTSHOT + スローシャッター
- スローシャッターを選ぶと以下の操作ができません。
 - プログラムAE
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
 - ワイドTVモード
 - ピクチャーエフェクト
 - プログラムAE

電源スイッチを「切」にするとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。



1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押す。
デジタルエフェクト表示が出る。

2 選択/押決定ダイヤルを回して、使いたいモードを選ぶ。



次の順で変わります。

スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔
トレイル↔スローシャッター↔オールドムービー

使いこなすー撮影ー

特殊な演出を加えて撮る - デジタルエフェクト(つづき)

スローシャッターでは自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

スローシャッターのシャッタースピードは

表示	シャッタースピード
スローシャッター-1	1/30
スローシャッター-2	1/15
スローシャッター-3	1/8
スローシャッター-4	1/4

③ 選択 / [押] 決定ダイヤルを押して決定する。

表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

④ 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

スチル	撮影中の動画の背景にある静止画の映り具合。
フラッシュ	フラッシュの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取りこむ部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。
スローシャッター	シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。
オールドムービー	調節は必要ない。

スチル ■■■■■

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。次のデジタルエフェクトで表示される。スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイル。

デジタルエフェクトを解除する

デジタルエフェクトボタンを押し、デジタルエフェクト表示を消す。

撮影状況に合わせて撮る - プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に
に行います。



スポットライトモード
舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気損なわずに撮影することができます。



ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。



フウケイモード
山などの速くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。



スポーツ/アクションモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。



キャンドルモード
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。



ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山(スキー場)などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

撮影状況に合わせて撮る - プログラムAE(つづき)

ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようフォーカスを制御します。
 - スポットライトモード
 - スポーツレックスモード
 - ビーチ&スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようフォーカスを制御します。
 - サンセット&ムーンモード
 - フウケイモード
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
 - スローシャッター
 - オールドムービー
- キャンドルモード中は以下の操作ができません。
 - デジタルエフェクト
 - オーバーラップ
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているとき、プログラムAEモードは使えません。(表示が点滅します)
- メモリーモード時、キャンドルモードとスポーツレックスモードは操作できません。(表示が点滅します)

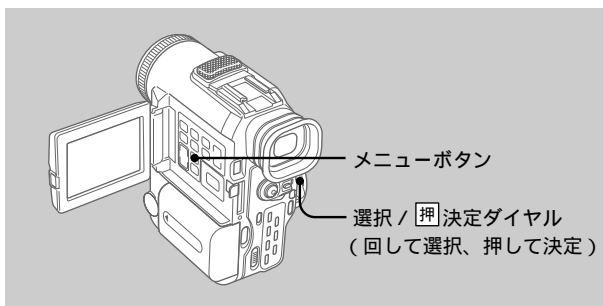
ホワイトバランスを「オート」にしているときはプログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。


プログラムAEモードで撮影中でも明るさを調節できます。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると

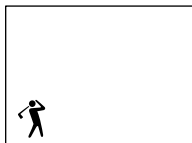
次のモードでは画面の明るさがちらつく現象(フリッカー)が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。

- ソフトポートレートモード
- スポーツレックスモード



1 [撮影スタンバイ中] または[メモリーモード中]にメニューで  の項目の「プログラムAE」を選ぶ。(74ページ)

2 選択/押決定ダイヤルを回して希望のプログラムAEモードを選ぶ。



次の順で変わります。
スポットライトモード↔ソフトポートレートモード↔スポーツレックスモード↔ビーチ&スキーモード↔サンセット&ムーンモード↔フウケイモード↔キャンドルモード

プログラムAEを解除する

メニューの「プログラムAE」で「オート」を選ぶ。(74ページ)

手動で画像の明るさを調節する

好みに合わせて手動で画像の明るさを調節し、固定することができます。

いつも使う?

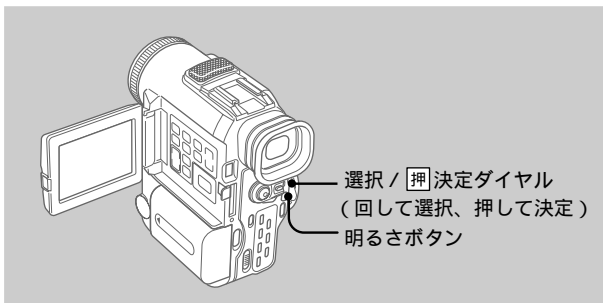
- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎる
とき
- 夜景を撮りたいときなど。

ご注意

明るさ調節をしているときは逆光補正ボタンは働きません。

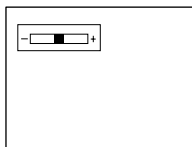
以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります。

- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にする。



1 [撮影スタンバイ中] [撮影中]または[メモリーモード中]に明るさボタンを押す。
明るさ表示が出る。

2 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して明るさを調節する。



自動調節に戻す

もう1度明るさボタンを押す。

手動でピントを合わせる

被写体の位置と撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。




いつ使う？

- 自動ではピントが合いにくいとき。
 - 被写体が水滴などのついた窓越しにあるとき
 - 被写体が横縞だけのものとき
 - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使い、ピントを固定して静止した被写体を撮るとき。

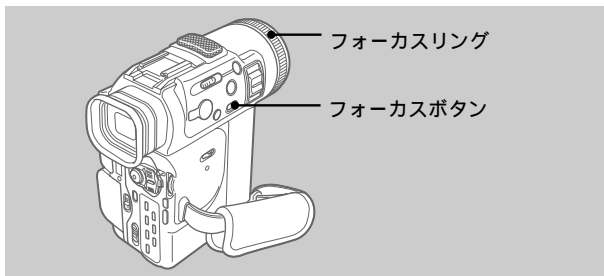
正確にピントを合わせるにはズームレバーをT側(望遠)にして手動ピント合わせをしたあと、ズームの調節をしてください。


近づいて大きく撮るときズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります

▲ 無限遠にあるとき。


● それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中] [メモリーモード中]にフォーカスボタンを軽く1回押す。手動ピント合わせ表示が出る。

- 2 フォーカスリングを回し、ピントの合う位置に調節する。

自動調節に戻す

フォーカスボタンを軽く押して、または▲、●表示を消す。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカスボタンを深く押し込むとピントは無限遠になり、▲表示が出る。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

再生している画像をピクチャーエフェクトで加工し、見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

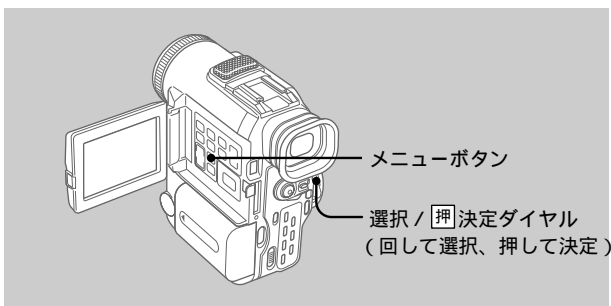
ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- 加工した画像を、本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。


ピクチャーエフェクトを加えた画像は

❗ DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切」にするか、再生を停止するとピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。



[再生中]または[再生一時停止中]に

メニューの  の項目の「ピクチャーエフェクト」を選択し、希望のモードを選ぶ。(74ページ)

各ピクチャーエフェクトについて詳しくは、34ページをご覧ください。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。(74ページ)

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生している画像をデジタルエフェクトで加工し、見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

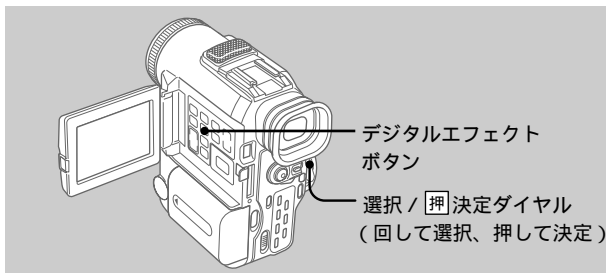
ご注意

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- 加工した画像を、本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

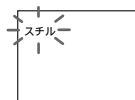
デジタルエフェクトを加えた画像は

❗ DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切」にするか、再生を停止するとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。



- 1 [再生中]または[再生一時停止中]にデジタルエフェクトボタンを押し、選択 / 押決定ダイヤルを回して使いたいモードを選ぶ。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔トレイル

- 2 選択 / 押決定ダイヤルを押して決定する。
表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。
スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。
- 3 選択 / 押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。
各デジタルエフェクトについて詳しくは、35ページをご覧ください。

デジタルエフェクトを解除する
デジタルエフェクトボタンを押す。

見たい場面にすばやく戻す - ゼロセットメモリー

テープカウンター値を「0:00:00」に設定した場面まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止することができます。リモコンでのみ操作できます。

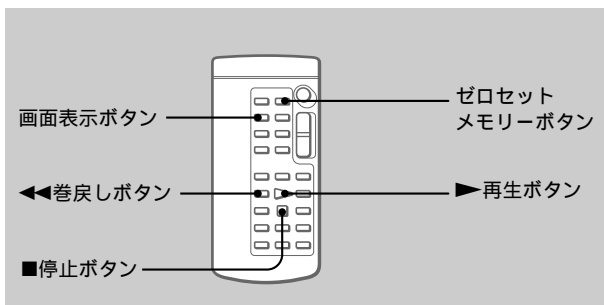
ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう1度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出る場合があります。
- テープの途中に記録されていない部分があるとゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

撮影スタンバイ中にも操作できます

ある部分だけ撮り直したいときに、撮り直したい部分の終了点でゼロセットメモリーボタンを押しておきます。

撮り直したい部分の開始点まで巻き戻して撮影を始めると終了点でテープが停止し、再び撮影スタンバイになります。



① [再生中]に
表示が出ていないときは画面表示ボタンを押す。

② 後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。
テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。

③ 再生し終わったら■停止ボタンを押す。

④ ◀◀巻き戻しボタンを押す。
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

⑤ ▶▶再生ボタンを押す。
再生が始まる。

使いこなし—再生—

タイトル場面を頭出しする - タイトルサーチ


CMのみ



カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます(タイトルサーチ)。(115ページ)リモコンも使います。

いつ使う?

タイトルを入れた場面を探したいとき

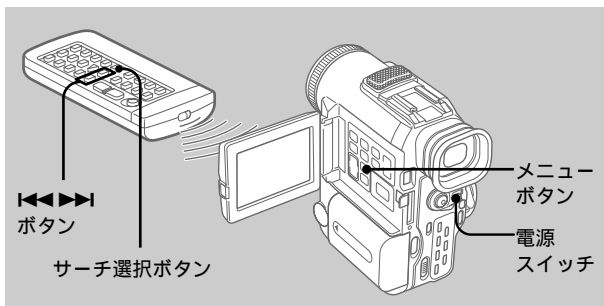
カセットメモリーの付いていないカセットではタイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。


画面上の  マーク中のバーはテープの現在位置を表します。

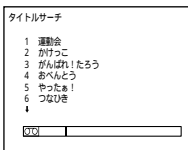
画面上の  マーク中の  マークは頭出ししたい位置を表します。

録画した部分の間に無記録部のあるテープではタイトルサーチが正しく働かないことがあります。

サーチ選択ボタンは押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→(表示なし)の順番で切り換わりま



- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 メニューで  の項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。(74ページ)お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 3 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、タイトルサーチを選ぶ。タイトルサーチ画面が出る。



-
- ④ リモコンの|◀◀または▶▶|ボタンを押して、
頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。



サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

撮影日で頭出しする - 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。
カセットメモリー付きカセットを使うと便利
です。リモコンも使います。



撮影日の変わり目を確認したり、撮
影日ごとに編集するときなど。

■カセットメモリーを使った日付サーチ → 画面で撮影日を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わない日付サーチ → 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上
が必要です。間隔が短いと正
しく検出されない場合があります。

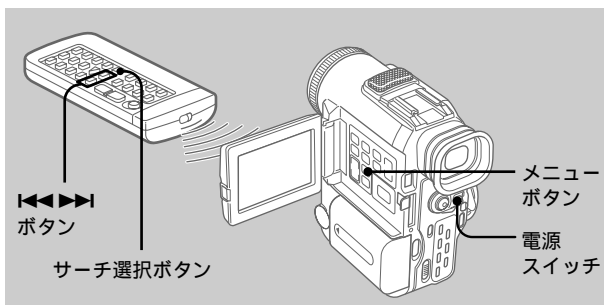
画面上の マーク中
のバーは
テープの現在位置を表します。

画面上の マーク中
の X マークは
頭出ししたい位置を表しま
す。

録画した部分の間に無記録部
のあるテープでは
日付サーチが正しく働かない
ことがあります。

1つのカセットのカセットメ
モリーに入る日付データは
6つまでです。日付データが7
つ以上あるときは、「カセッ
トメモリーを使わずに頭出し
する」(47ページ)の手順で
検索してください。

サーチ選択ボタンは
押すごとにタイトルサーチ→
日付サーチ→フォトサーチ
→フォトスキャン→(表示な
し)の順番で切り換わりま
す。

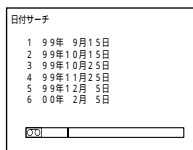


カセットメモリーを使って頭出しする

カセットメモリー付きカセットでのみできます。(115ページ)

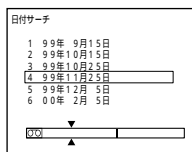
- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 メニューで の項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。(74ページ)
お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 3 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。

日付サーチ画面が出る。



-
- ④ リモコンの◀◀または▶▶ボタンを押して、
頭出ししたい日付を選ぶ。


選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。



サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに頭出しする

-
- ① 電源スイッチを「ビデオ」にする。
-
- ② メニューでの項目の「Cメモリーサーチ」
を「切」にする。(74ページ)
カセットメモリー付きでないカセットをお使いの場合
は、「切」にする必要はありません。

-
- ③ サーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選
ぶ。

-
- ④ リモコンの◀◀または▶▶ボタンを押す。
日付をさかのぼるときは、◀◀ボタンを、日付を進め
るときは、▶▶ボタンを押す。日付の変わり目で、自動
的に再生が始まる。
ボタンを押した回数だけ前(◀◀)または後ろ(▶▶)の
場面が頭出しされる。

サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す - フォトサーチ/フォトスキャン

「フォト撮影」でミニDVテープに撮影した静止画を頭出しできます(フォトサーチ)。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。

また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生するこ


ともできます(フォトスキャン)。リモコンも使います。



いつ使う?

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するときなど。

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ → 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ → 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

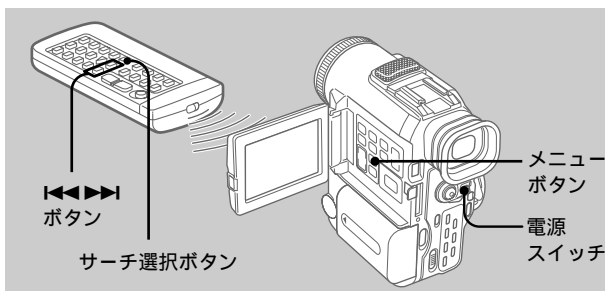
画面上の  マーク中のバーはテープの現在位置を表します。

画面上の  マーク中の  マークは頭出ししたい位置を表します。

録画した部分の間に無記録部のあるテープではフォトサーチが正しく働かないことがあります。


1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

サーチ選択ボタンは押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→(表示なし)の順番で切り換わります。




カセットメモリーを使って静止画を探す - フォトサーチ

カセットメモリー付きカセットでのみできます。(115ページ)

- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 メニューで  の項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。(74ページ)
お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 3 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。
フォトサーチ画面が出る。

フォトサーチ		
1	99年 9月15日	7:00AM
2	99年10月15日	4:00PM
3	99年10月25日	6:00PM
4	99年11月25日	8:00PM
5	99年12月5日	5:00PM
6	00年 2月 5日	10:00AM
4		



-
- ④ リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押して、
頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。
選んだ撮影日時の静止画が自動的に再生される。

フォトサーチ			
1	99年 9月15日	7:00AM	
2	99年10月15日	4:00PM	
3	99年10月25日	6:00PM	
4	99年11月25日	9:00PM	
5	99年12月 5日	5:00PM	
6	00年 2月 5日	10:00AM	

↓

000

▲

サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す - フォトサーチ

-
- ① 電源スイッチを「ビデオ」にする。
-
- ② メニューで☐の項目の「Cメモリーサーチ」
を「切」にする。(74ページ)
-
- ③ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォ
トサーチを選ぶ。
-
- ④ リモコンのI◀◀または▶▶Iボタンを押す。
静止画の場面で、自動的に再生が始まる。
ボタンを押した回数だけ前(I◀◀)または後ろ(▶▶)の
場面が頭出しされる。
-

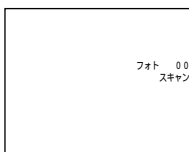
サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す - フォトサーチ/フォトスキャン(つづき)

静止画を次々に出して探す - フォトスキャン

- ① 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- ② リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトスキャンを選ぶ。
フォトスキャン画面が出る。



- ③ リモコンの◀◀または▶▶ボタンを押す。
静止画が順に5秒ずつ表示される。
-

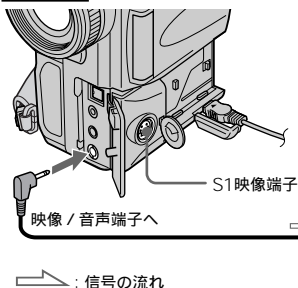
フォトスキャンを止める

- 停止ボタンを押す。

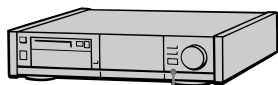
他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

再生側



録画側



ビデオ入力



入力切り換えスイッチを「外部入力 (ライン)」にする。

1 カセットを準備する。

本機 : 撮影ずみのカセットを入れる。

録画機 : ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力 (ライン)」にする。
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

4 本機で再生する。

5 録画機で録画をはじめめる。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングの前にメニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。(お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。)

次のボタンを押して画面の表示を消してください

- ・ 画面表示ボタン
 - ・ データコードボタン(リモコン)
 - ・ サーチ選択ボタン(リモコン)
- 消さないでくと、ダビングしたテープに記録されます。

録画機は以下のどの方式のビデオでも使えます

Hi8、VHS、VHS-C、S-VHS、S-VHS-C、Hi8 Beta、iV、iV-C

録画機の音声入力がひとつ(モノラル)の場合

AV接続ケーブルの黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグが赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声、赤いプラグをつなぐと右音声記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより鮮明になります。ビデオにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子(映像)のかわりにS映像ケーブル(別売り)で、本機のS1映像端子とビデオのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

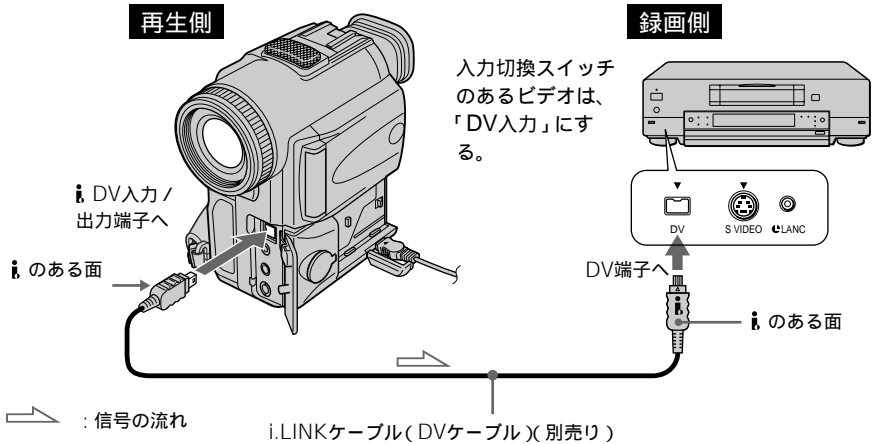
ダビングが終わったら

録画機で録画を停止する。本機で再生を停止する。

他のビデオへダビングする(つづき)

i.LINKケーブル(DVケーブル)でつなぐ本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。タイトルや画面表示、カセットメモリーの内容、メモリーインデックス画面の文字はダビングできません。



i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できるのは1台だけです

デジタルエフェクトがかかった画像は

i.LINKケーブル(DVケーブル)からは出力されません。

再生一時停止にしている画像はDV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

1 カセットを準備する。

本機 : 撮影ずみのカセットを入れる。

録画機 : ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

4 本機で再生する。

5 録画機で録画をはじめる。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止する。本機で再生を停止する。

DVテープに一部分ダビングする - DVシンクロエディット

編集したい場面をプログラムで選ぶだけで、i.LINK ケーブル(DVケーブル)(別売り)で接続している他の機器に、指定した部分だけをダビングすることができます。場面はフレーム単位で選べます。リモコンでも操作できます。

DVシンクロエディットではデジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトルや画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。

接続は52ページと同じです。

ご注意

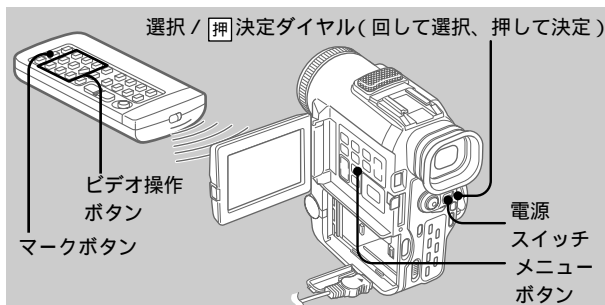
- 他社のDV入力端子(i.LINK入力端子)搭載機器ではお使いになれません。
- 録画した部分の間に無記録部分のあるテープでは、DVシンクロエディットが正しく働かないことがあります。

ダビング時の誤差は

ソニー製DV端子付き機器と接続した場合、前後5フレーム以内です。

また、以下の条件では誤差が大きくなる場合があります。

- 編集したい場面の長さ(「ここから」と「ここまで」の間(54ページ))が5秒以下のとき
- 「ここから」または「ここまで」をテープの最初に設定したとき



- 1** カセットを準備する。
本機 : 撮影ずみのカセットを入れる。
録画機 : ダビングしたいカセットを入れる。
- 2** 本機と録画機をi.LINKケーブル(DVケーブル)で接続する。
- 3** 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 4** 録画機側の入力切換を「DV入力」にする。
録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 5** メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

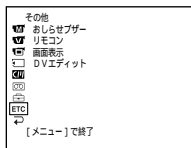
編集する

DVテープに一部分ダビングする - DVシンクロエディット(つづき)

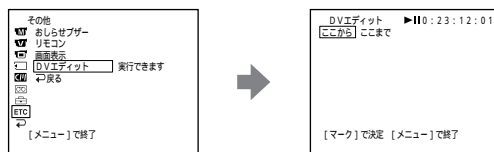
i.LINKケーブル(DVケーブル)で接続していないと「実行できません」と表示され、「DVエディット」は選べません。

テープの無記録部には「ここから」「ここまで」の設定はできません。

- 6** 選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して「**ETC**」を選び、押して決定する。



- 7** 選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して「DVエディット」を選び、押して決定する。



「ここから」を設定する

- 8** ビデオ操作ボタンを使って、ダビングしたい部分の始めを探し、再生一時停止にする。
(134ページ)

テープを一時停止してから、「DVエディット」を選ぶことができます。

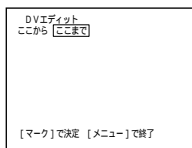
- 9** 選択 / **[押]** 決定ダイヤルまたはリモコンのマークボタンを押す。

プログラムの「ここから」が設定される。

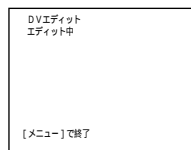
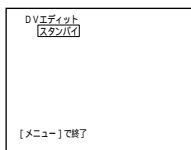
「ここまで」を設定し、ダビングを開始する

- 10** ビデオ操作ボタンを使って、ダビングしたい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。

11 選択 / **[]** 決定ダイヤルまたはリモコンのマークボタンを押す。



プログラムの「ここまで」が設定される。



ダビングが始まると、表示が「スタンバイ」から「●エディット中」に変わります。

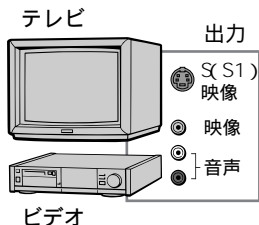
ダビングが終了すると、本機も録画機も自動的に一時停止します。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

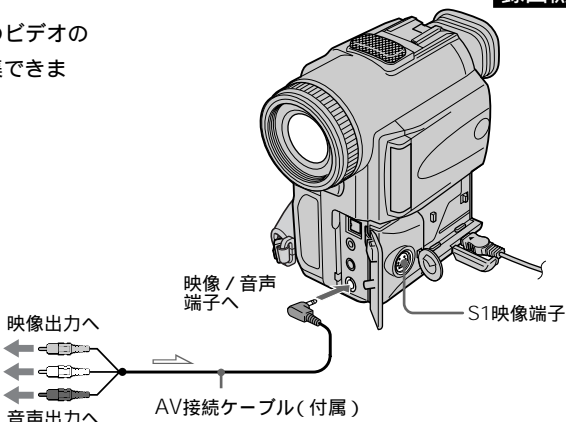
本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

受信/再生側



→ : 信号の流れ

録画側



ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合

AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声、赤いプラグをつなぐと右音声記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像はより鮮明になります。ビデオやテレビにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子(映像)のかわりにS映像ケーブル(別売り)で、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

① カセットを準備する。

本機：録画用カセットを入れる。

ビデオから録画するときは：他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

② 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

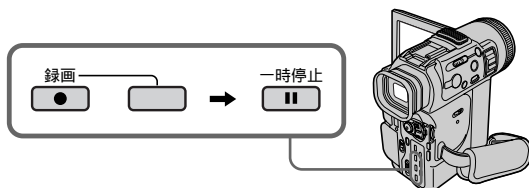
③ メニューの ETC の項目で「画面表示」を「パネル」にする。(74ページ)

④ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

5 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに■一時停止ボタンを押す。



6 他のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

本機の液晶画面またはファインダーに録画したい画像が出る。

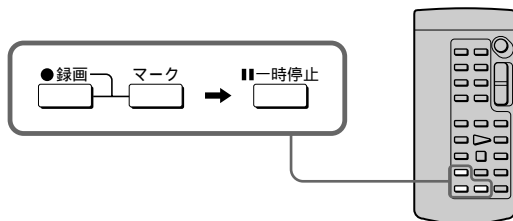
7 録画したい場面で■一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

本機で録画を停止する。再生機で再生を停止する。

リモコンを使って録画する

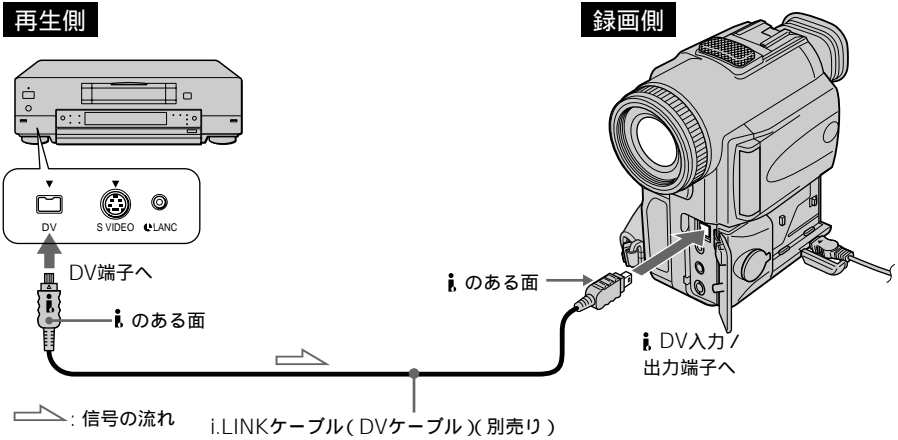
手順5で●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに■一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順7で■一時停止ボタンを押して、録画を始める。



ビデオやテレビから録画する(つづき)

i.LINKケーブル(DVケーブル)でつなぐ本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)でつなぎ本機で録画・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。



i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できるのは1台だけです

デジタルダビングしているときモニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

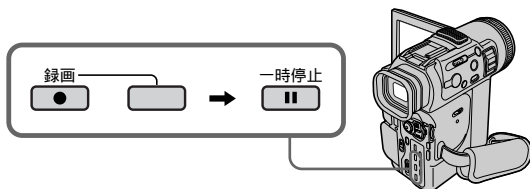
再生一時停止している画像はDV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

- 1 カセットを準備する。
本機 : ダビングしたいカセットを入れる。
再生機 : 撮影ずみのカセットを入れる。
- 2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 3 メニューの ETC の項目で「画面表示」を「パネル」にする。(74ページ)
- 4 メニューボタンを押す。
メニュー画面が消える。

録画を始める前に
液晶画面やファインダーに
「DV入力」の表示が出るのを
確認してください。表示は両
方の機器に出ることもありま
す。

5 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに■一時停止ボタンを押す。



6 他のビデオ機器を再生する。

本機の液晶画面またはファインダーに録画したい画像が出る。

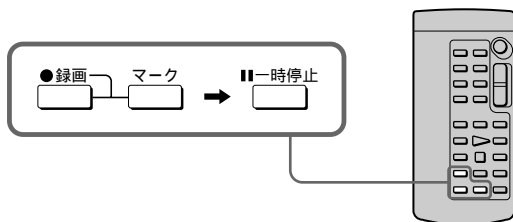
7 録画したい場面で■一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

本機で録画を停止する。再生機で再生を停止する。

リモコンを使って録画する

手順5で●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに■一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順7で■一時停止ボタンを押して、録画を始める。

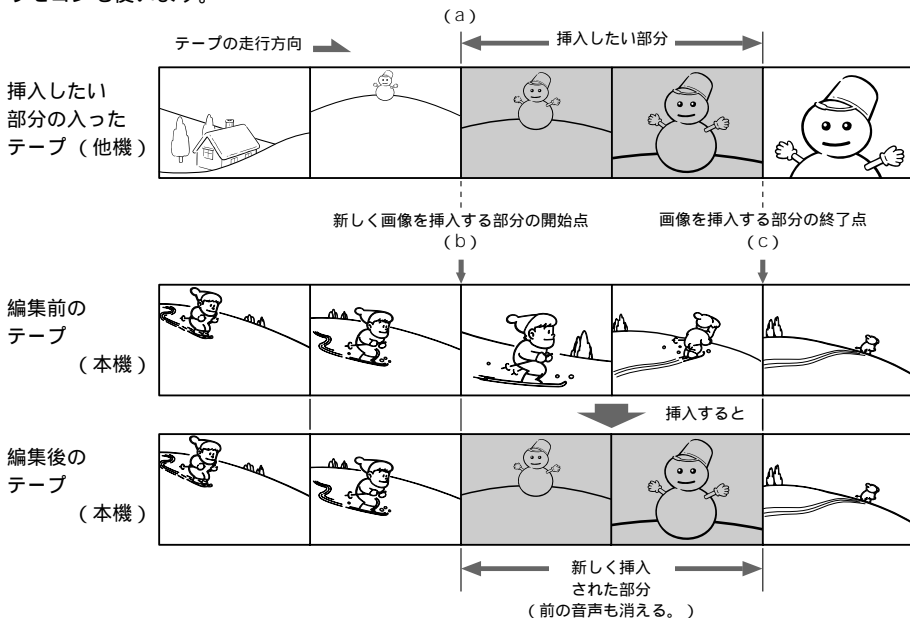


撮影したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入(インサート編集)できます。

リモコンも使います。

52ページまたは56ページの接続と準備をし、挿入したい部分のに入ったテープを他機に入れておきます。



ご注意

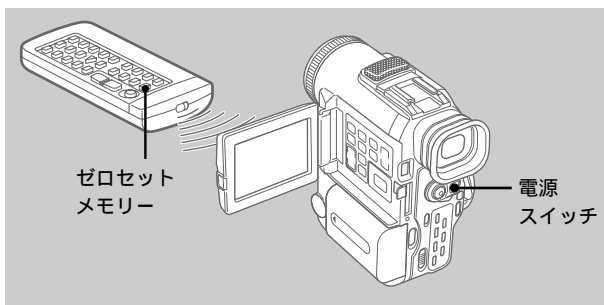
新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

他のビデオテープで録画したテープに挿入すると画質や音質が劣化することがあります(本機以外のDCR-PC100を含む)。本機で録画されたテープに挿入することをおすすめします。

新しく挿入された部分を再生すると

終了点の画像や音声が乱れることがあります。故障ではありません。

LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

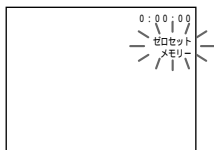


- 1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 他機(再生側)で、挿入したい部分(a)の少し前で、再生一時停止状態にする。

終了点を設定せずに録画するときは
手順3と4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

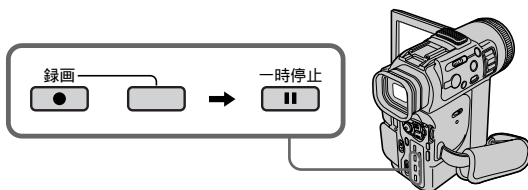
3 本機で、挿入部分の終了点(C)を探し、再生一時停止状態にする。

4 リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。
ゼロセットメモリー表示が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。



5 本機で、挿入部分の開始点(b)を探し、録画一時停止状態にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに■一時停止ボタンを押す。



6 他機(再生側)の■一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機の■一時停止ボタンを押す。

本機の挿入部分に、新たにビデオ(再生側)の映像と音声
が記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動
的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

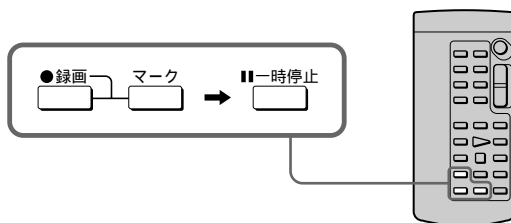
撮影したテープに新しく画像を挿入する(つづき)

終了点の位置を変える

手順5の後でリモコンのゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、ゼロセットメモリー表示を消して、手順3からやり直す。

リモコンを使って録画する

手順5で●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに||一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順6で||一時停止ボタンを押して、記録を始める。



記録済みテープに音声を追加する - アフレコ

録画済みテープの指定した部分に音声を追加
できます。撮影時の音声は消えません。

次の4つの方法のいずれかで、音声を録音し
てください。

リモコンも使います。

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません。(79ページ)
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- DV入力/出力端子からはアフレコできません。

すべての接続をすると追加する音声は、以下の順番で優先されて録音されます。

- マイク(プラグインパワー)端子
- インテリジェントアクセサリシュー
- 映像/音声端子
- 内蔵マイク

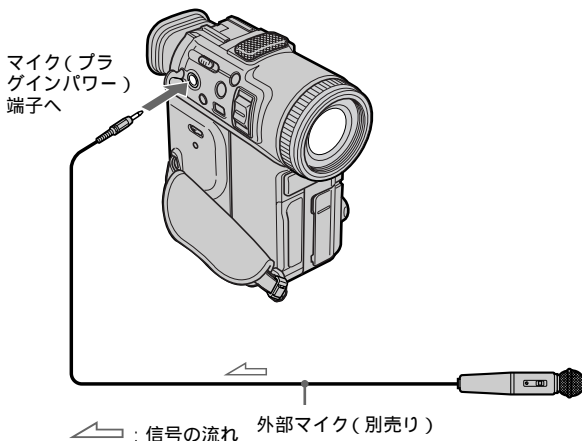
i.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)が接続されているとアフレコできません。

誤消去防止状態のカセットではアフレコできません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

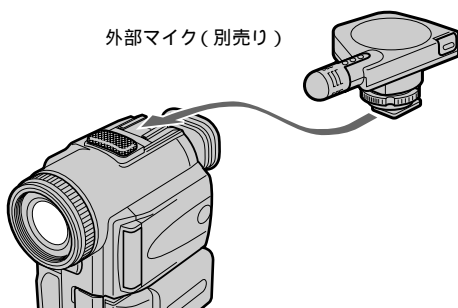
本機で録画されたテープにアフレコすることをおすすめします。

他のビデオ(本機以外のDCR-PC100を含む)で録画したテープにアフレコすると音質が劣化することがあります。

別売りの外部マイクでマイク端子からアフレコする場合



別売りの外部マイクをインテリジェントアクセサリシューに接続してアフレコする場合

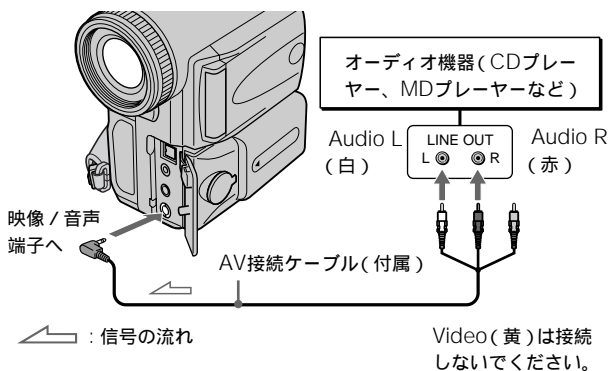


記録済みテープに音声を追加する - アフレコ(つづき)

ご注意

- 映像 / 音声端子を使ってアフレコするとき、映像は液晶画面またはファインダーで確認できます。アフレコする音声は、スピーカーまたはヘッドホンで確認できます。
- 内蔵マイク、または外部マイクを使ってアフレコするとき、映像は液晶画面、またはファインダー、S1映像端子に接続した機器の画面で確認できます。アフレコする音声はヘッドホンで確認できます。

映像 / 音声端子でアフレコする場合

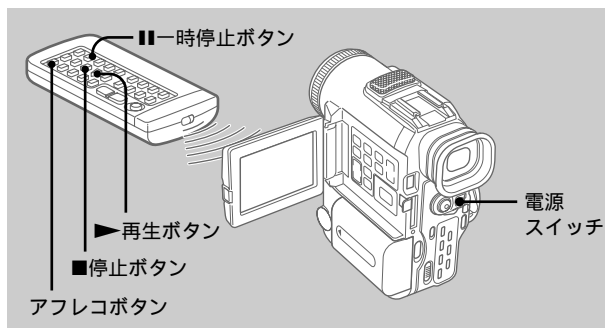


内蔵マイクでアフレコする場合

接続は不要です。

アフレコする

上記のいずれかの接続をして、次の操作をします。



- 1 本機に録画済みカセットを入れる。
- 2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

より正確にアフレコするには再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

ご注意

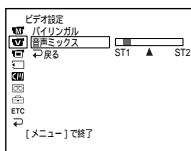
テープの無記録部分にはアフレコできません。

- 3 アフレコの開始点を決める。
リモコンの▶再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたところで■一時停止ボタンを押す。
- 4 リモコンのアフレコボタンを押す。
画面上に緑色の●■マークが出ます。
- 5 本体またはリモコンの■一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。
画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録します。
- 6 アフレコを終了したいところで本体またはリモコンの■停止ボタンを押す。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューの音声ミックスで撮影時の音声(ステレオ1)とアフレコした音声(ステレオ2)の音のバランスを調整します。(74ページ)



お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音が出る設定に戻ります。

タイトルを入れる

CMのみ

カセットメモリー付きカセットを使うと、撮影中、または撮影後にタイトルを入れることができます(インデックスタイラー機能)。再生すると、タイトルを入れた場面から約5秒間、タイトルが画面に出ます。
本機にあらかじめ登録してある8種類

のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類(70ページ)の中から好みのものが選べます。また、タイトルの色や文字のサイズ、表示位置も選べます。



誤消去防止状態のカセットではタイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

オリジナルタイトルを入れるときは手順2で「□」を選びます。

テープの無記録部分にはタイトルを入れられません。

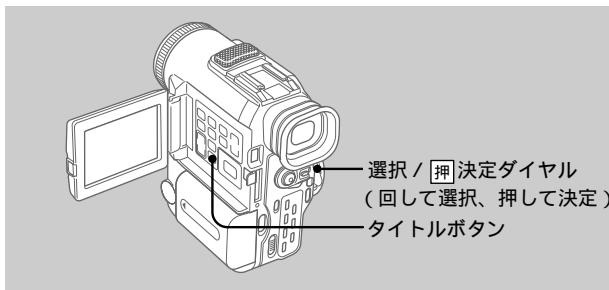
録画した部分の間に無記録部があるテープではタイトルが正しく表示されないことがあります。

本機で入れたタイトルは

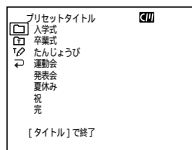
- インデックスタイラー機能付きの^{MM} DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープにはメモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

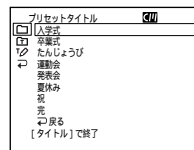
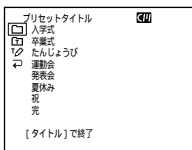
タイトルを出したくないときメニューで「タイトル表示」を「切」にします。(74ページ)



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]、[再生中]、[再生一時停止中]のときタイトルボタンを押す。



- 2 選択/押決定ダイヤルを回して「□」を選び、押して決定する。



設定表示と表示順

- 「色設定」
しる↔きいろ↔むらさき
↔あか↔みずいろ↔み
どり↔あお
- 「サイズ設定」
ちいさい↔おおきい
12文字をこえるタイトル
には「おおきい」サイズの
設定はできません。
- 「位置設定」
「ちいさい」サイズは9段
階、「おおきい」サイズは8
段階から選べます。

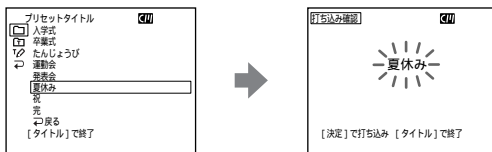
1つのカセットに記憶できる
タイトルは
平均5文字で20タイトルで
す。ただし、カセットメモ
リーに日付データ/フォト
データ/カセットラベルデー
タが容量いっぱいに入ってい
るときは、平均5文字で11タ
イトルです。1つのカセット
のカセットメモリーに入る各
データの容量は次の通りで
す。

- 日付データ 6つ
- フォトデータ 12枚
- カセットラベル1つ

カセットメモリーの容量が
いっぱいのはきは
「カセットメモリーがいっぱ
いです」のお知らせメッセー
ジが出ます。不要なタイト
ルを消してください。

3 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して入れたいタイ トルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。

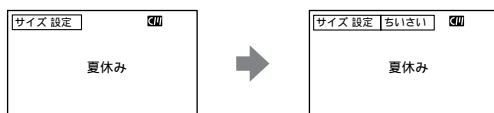


4 色、サイズ、位置を選択する。

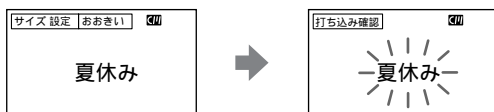
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいとき
は手順5にすすむ。

- 1 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して「色設定」または
「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定す
る。

選べる項目が出る。



- 2 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して希望の項目を選
び、押して決定する。



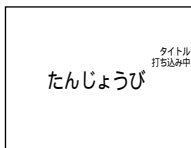
- 3 必要なだけ1と2を繰り返す。

編集する

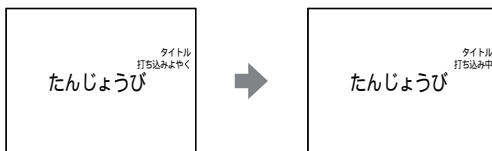
タイトルを入れる(つづき)

- ⑤ タイトルを確認し、選択 / 押決定ダイヤルを押す。


[再生中]または[再生一時停止中] [撮影中]のとき
[打ち込み中]の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

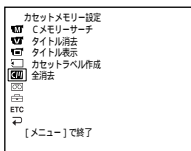


[撮影スタンバイ中]のとき
[打ち込みよやく]の表示が出る。スタート/ストップボタンを押して撮影を始めると同時に[打ち込み中]の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

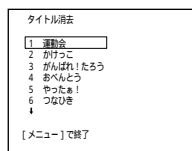
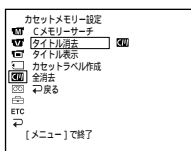


タイトルを消す

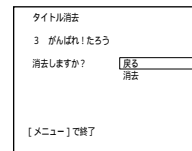
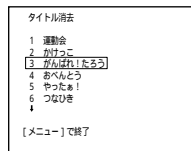
- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 3 選択 / 押決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



- 4 選択 / 押決定ダイヤルを回して「タイトル消去」を選び、押して決定する。
タイトル消去画面が出る。



- 5 選択 / 押決定ダイヤルを回して消したいタイトルを選び、押して決定する。
「消去しますか?」の表示が出る。



- 6 消去するタイトルを確認し、選択 / 押決定ダイヤルを回して「消去」を選び、押して決定する。

タイトルの消去を中止する
手順6で「戻る」を選ぶ。

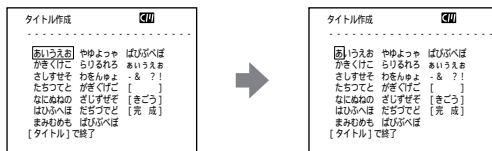
[きごう] を選ぶと
アルファベットや数字、漢字
などが選べる画面が出ます。
[かな] を選ぶと、元の画面に
戻ります。

文字を消すとき
[←] を選ぶと、一番後ろの文
字が消えます。

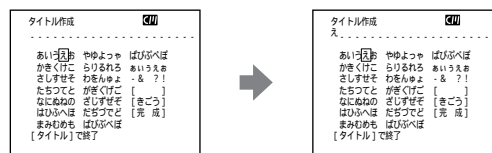
漢字変換機能は
ありません。[きごう] にある
漢字以外をタイトルに使うこ
とはできません。

空白を入りたいときは
[- & ? !] の文字列の、空
白の部分を選んでください。

4 選択 / 押 決定ダイヤルを回して希望の文字列 を選び、押して決定する。



5 選択 / 押 決定ダイヤルを回して希望の文字を 選び、押して決定する。



6 手順4と5を繰り返して希望のタイトルを作 る。

7 選択 / 押 決定ダイヤルを回して「完成」を選 び、押して決定する。

8 タイトルボタンを押して、タイトル画面を消 す。

作成したタイトルを変更する

手順3で、変更したいオリジナルタイトルを選び、選択 / 押 決定ダイヤルを押し、文字を選び直す。

カセットになまえを付ける - カセットラベル

CM
のみ

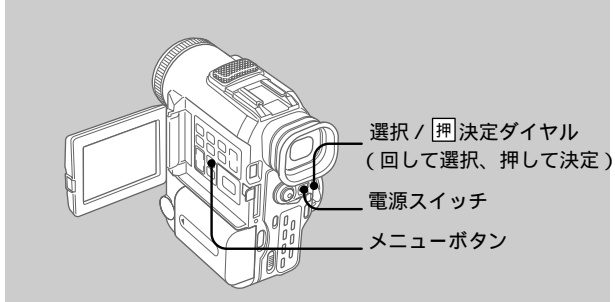
カセットメモリー付きカセットには、10文字までのなまえを付けることができます。


なまえを付けたカセットを入れ、電源スイッチを入ると、付けたなまえが約5秒間自動的に表示されます。

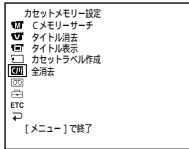
誤消去防止状態のカセットではなまえをつけれられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

タイトルが入れてあるとカセットのなまえが表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

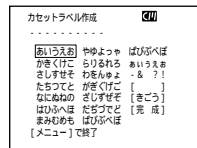
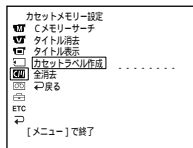
文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないときカセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。



- 1 なまえを付けたいカセットを入れる。
- 2 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 4 選択 / 押 決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



- 5 選択 / 押 決定ダイヤルを回して「カセットラベル作成」を選び、押して決定する。
カセットラベル作成画面が出る。

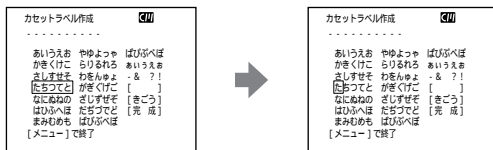


文字を消すとき
「←」を選ぶと、一番後ろの文字が消えます。

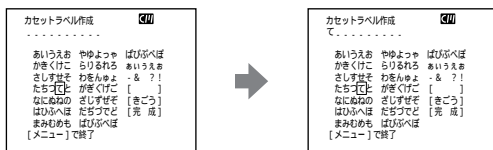
[きごう]を選ぶと
アルファベットや数字、漢字などが選べる画面が出ます。
[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

空白を入れたいときは
[- & ? !]の文字列の、空白の部分を選んでください。

6 選択 / 押決定ダイヤルを回して希望の文字列を選び、押して決定する。



7 選択 / 押決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。



8 手順6と7を繰り返して希望のカセットラベルを作る。

9 選択 / 押決定ダイヤルを回して「完成」を選び、押して決定する。

作成したカセットラベルを消す

手順6で「←」を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更する

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作ります。

メニューで設定を変える










画面上のメニュー項目を、選択 / [押]決定ダイヤルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

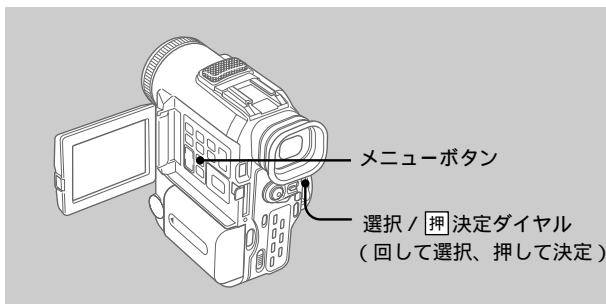
次の順で選択します。

メニュー画面→アイコン→項目→設定内容を一部変更することができます。

メニュー項目は

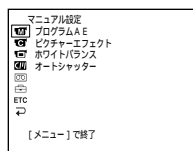
以下のアイコン(絵文字)で
区別されています。

-  マニュアル設定
-  カメラ設定
-  ビデオ設定
-  パネル/ファインダー設定
-  メモリー設定
-  カセットメモリー設定
-  テープ設定
-  初期設定
-  その他

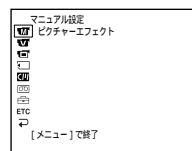


1 [撮影スタンバイ中]または[ビデオ][メモリー]のとき メニューボタンを押す。

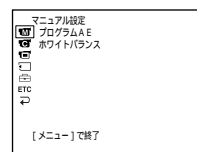
撮影スタンバイ中のとき
(「カメラ」のとき)



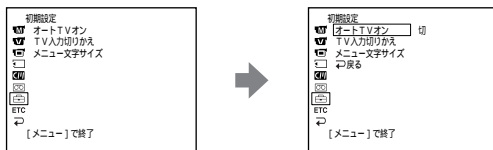
「ビデオ」のとき



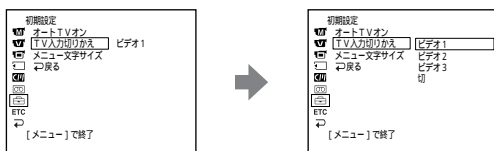
「メモリー」のとき



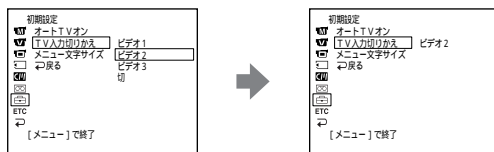
- 2** 選択 / 押 決定ダイヤルを回して希望のアイコンを選び、押して決定する。



- 3** 選択 / 押 決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。



- 4** 選択 / 押 決定ダイヤルを回して設定を変更し、押して決定する。



- 5** 必要なだけ手順2～4を繰り返す。

手順2に戻るには、選択 / 押 決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」(76ページ)をご覧ください。




メニュー画面を消す

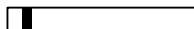
メニューボタンを押す。

メニューで設定を変える(つづき)

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の 印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、そのとき使える項目のみ表示されます。

アイコン/項目	設定	設定の意味(参照ページ)	電源スイッチの位置
 プログラムAE		被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。(37ページ)	「カメラ」 「メモリー」
ピクチャー エフェクト		画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。(34ページ)	「ビデオ」 「カメラ」
ホワイトバランス		ホワイトバランスを調節する。(30ページ)	「カメラ」 「メモリー」
オートシャッター	入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。	「カメラ」
	切	明るいときでも、電子シャッターが働かない。	
 デジタルズーム	切	デジタルズームを使用しない (ズームは10倍まで働く)。	「カメラ」
	入	ズームが10倍を超えると40倍までデジタルズームが働く。(15ページ)	
ワイドTV	切	ワイド録画モードにしない。	「カメラ」
	入	ワイド録画モードにする。(31ページ)	
手ぶれ補正	入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するとき に自然な画像になる。	
N.S.ライト	入	NIGHTSHOTライトを使用する。(18ページ)	「カメラ」 「メモリー」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
 バイリンガル	切	ステレオ音声または主+副音声で再生する。 (116ページ)	「ビデオ」
	メイン	左音声または主音声で再生する。	
	サブ	右音声または副音声で再生する。	
音声ミックス		音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。 (65ページ)	「ビデオ」












ST1 ▲ ST2

手ぶれ補正は

- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると

ハンディカムを左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示  が出ます。

アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)	電源スイッチの位置	
 パネル明るさ		液晶画面の明るさを選択 / [押] 決定ダイヤルを回して、バーで調節する。(13ページ) 暗くなる  明るくなる 	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」	
	パネルバック	明るさノーマル	液晶画面の明るさを標準にする。	「ビデオ」
	ライト	明るい	液晶画面を明るくする。	「カメラ」 「メモリー」
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを選択 / [押] 決定ダイヤルを回して、バーで調節する。 うすくなる  こくなる 	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」	
	ファインダー		ファインダーの明るさを選択 / [押] 決定ダイヤルを回して、バーで調節する。 暗くなる  明るくなる 	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
	明るさ			
 連写	切	連写しない。	「メモリー」	
	入	連写する。(91ページ)		
	マルチ画面	9連写する。(91ページ)		
	連写			
画質	スーパーファイン(SFN)	“メモリースティック”を使い、最も高画質で静止画を記録する。(85ページ)	「ビデオ」 「メモリー」	
	ファイン(FINE)	“メモリースティック”を使い、高画質で静止画を記録する。(85ページ)		
	スタンダード(STD)	“メモリースティック”を使い、標準の画質で静止画を記録する。(85ページ)		
画像サイズ	1152×864	静止画を1152×864サイズで記録する。	「メモリー」	
	640×480	静止画を640×480サイズで記録する。		
プリントマーク	切	静止画のプリントマークを解除する。	「ビデオ」	
	入	プリントしたい静止画にプリントマークを付ける。	「メモリー」	
プロテクト	切	静止画の誤消去防止指定を解除する。	「ビデオ」	
	入	静止画を誤消去しないようにする。(108ページ)	「メモリー」	
スライドショー		スライドショーをする。(106ページ)	「メモリー」	
全消去		プロテクトのかかっていないすべての静止画を消去する。(111ページ)	「メモリー」	

「パネルバックライト」の「明るい」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

画像サイズは「マルチ画面連写」を選ぶと、自動的に640×480になります。ビデオモード時も640×480になります。

メニューで設定を変える(つづき)

アイコン / 項目	設定	設定の意味 (参照ページ)	電源スイッチの位置
☐ フォーマット	戻る	フォーマットを中止する。	「メモリー」
	フォーマット	本機に入れた“メモリスティック”をフォーマット(初期化)する。1「フォーマット」の項目を選び、選択 / [押] 決定ダイヤルを押す。 2 選択 / [押] 決定ダイヤルを回し、「フォーマット」を選び、選択 / [押] 決定ダイヤルを押す。 3 画面に「フォーマットします」と表示されたら、選択 / [押] 決定ダイヤルを押す。「フォーマット中」と表示される。「完了」と表示されると終了。	
オートフォトコピー		静止画をコピーする。(99ページ)	「ビデオ」
📷 Cメモリーサーチ	入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。(44ページ)	「ビデオ」
	切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。	
タイトル消去		タイトルを消去する。(69ページ)	「ビデオ」 「カメラ」
タイトル表示	入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	「ビデオ」
	切	タイトルを出さない。	
カセットラベル作成		カセットになまえを付ける。(72ページ)	「ビデオ」 「カメラ」
	全消去	カセットメモリーのデータをすべて消去する。	「ビデオ」 「カメラ」
📹 録画モード	SP	SP(標準)モードで録画する。	「ビデオ」 「カメラ」
	LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	

フォーマットについて

- 付属または市販の“メモリスティック”はお買い上げ時にフォーマット(初期化)済みです。あらためてフォーマット(初期化)する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間は電源スイッチを切り換えたりボタン操作をしないでください。
- “メモリスティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット(初期化)できません。
- フォーマット(初期化)したあとに「メモリスティックを確認してください」と表示されたら、もう1度フォーマット(初期化)してください。

- フォーマット(初期化)すると“メモリスティック”の記録内容は消去されます
以下の点にご注意ください。
- 付属の“メモリスティック”にあらかじめ記録してあるサンプル画像は消去されます。
 - 画像にプロテクトをかけていても消去されます。

LPモードについて

- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。

- LPモードで記録するときには、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster(マスター)DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながることがあります。

アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)	電源スイッチの位置
🔊 音声モード	12BIT	12ビットモード(2つのステレオ音声)の記録ができる。	「ビデオ」 「カメラ」
	16BIT	16ビットモード(高音質で1つのステレオ音声)の記録ができる。	
テープ残量表示	オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • 電源 / テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。• ▶再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。• 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	「ビデオ」 「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	
データコード	日付 / カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。	「ビデオ」
	日付データ	日付・時刻を表示する。	
🕒 日時あわせ		日付・時刻を合わせ直す。(81ページ)	「カメラ」 「メモリー」
オートTVオン	切		「ビデオ」 「カメラ」
	入	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。(26ページ)	「メモリー」
TV入力切りかえ	ビデオ1	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの入力を切り換える。(26ページ)	「ビデオ」
	ビデオ2		「カメラ」
	ビデオ3		「メモリー」
メニュー文字サイズ	切		
	ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	「ビデオ」 「カメラ」
デモモード	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	「メモリー」
	入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

音声モードを「16BIT」にする
と
アフレコはできません。

音声モードが16ビットで記録されたテープでは
音声ミックスのバランス調節は
できません。

デモモードは

- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。

- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、「NIGHTSHOT」が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューで「デモモード」を選ぶことはできません。

メニューで設定を変える(つづき)

アイコン / 項目	設定	設定の意味(参照ページ)	電源スイッチの位置
ETC 時差補正		時差の設定をする。	「カメラ」
		選択 / [押] 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「メモリー」
おしらせブザー	メロディー	撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	「カメラ」
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。	「メモリー」
リモコン	入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	「カメラ」 「メモリー」
画面表示	パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」 「カメラ」
	ビデオ出力 / パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	「メモリー」
録画ランプ	入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	「メモリー」
DVエディット		i.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)でつないだ機器にDVシンクロエディットでダビングするときを選ぶ。(53ページ)	「ビデオ」

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力 / パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力はできなくなります。

電源をはずして5分以上たつと

「音声ミックス」、「リモコン」、「パイリンガル」、「プログラムAE」、「ホワイトバランス」はお買い上げ時の設定に戻ります。

その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき

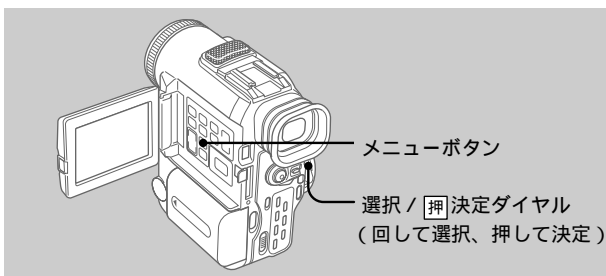
「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

日付・時刻を合わせ直す


お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、半年程度本機を使わなかったときなどは内蔵の充電式ボタン電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されることが

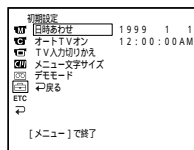
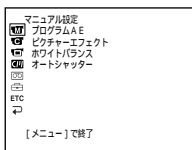
あります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。(131ページ)

日時を設定しないと
テープと“メモリースティック”のデータコードには
「-----」が記録されます。

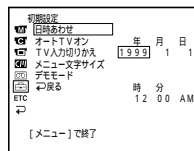
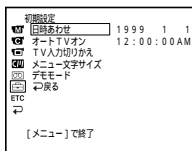


年 月 日 時 分の順で合わせます。

- 1 [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。
- 2 選択 / 押決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



- 3 選択 / 押決定ダイヤルを回して「日時合わせ」を選び、押して決定する。



お買い上げ時の設定を変える

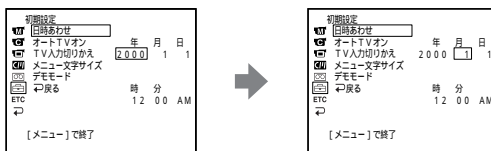
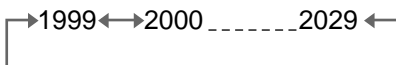
日付・時刻を合わせ直す(つづき)

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午
は12:00:00PMと表示しま
す。

- 4** 選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して「年」を合
わせる。

選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して
決定する。

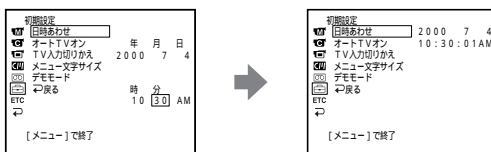
年表示は次のように変わる。



- 5** 手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

- 6** 「分」と「秒」を合わせる。

選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と
同時に押して決定する。時計が動き始める。



- 7** メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

“メモリースティック”を使う - はじめに

付属の“メモリースティック”は、静止画を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようことができます。

- 画像をテープから“メモリースティック”、“メモリースティック”からテープへ取りこむ。
- 別売りのパソコン接続キットや“メモリースティック”用PCカードアダプターを使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
- 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

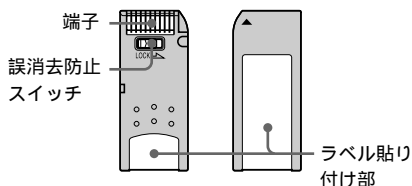
画像の圧縮形式 (JPEG)

本機は、撮影した画像データをJPEG (Joint Photographic Experts Group) 方式で圧縮 / 記録しています。ファイル拡張子は「.jpg」です。

画像のデータファイル名

DSC00001.jpgのようになります。

“メモリースティック”について



- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去などができなくなります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

付属の“メモリースティック”のフォーマット (初期化) は

必要ありません。本機で使用できる形式にフォーマットされています。

形式: FAT (“メモリースティック”標準フォーマット)

ご注意


- 付属の“メモリースティック”には、あらかじめサンプル画像などが記録してあります (94ページ)。フォーマット (初期化) すると、これらの画像はすべて消去されます。
- 誤消去を防ぐために、付属のラベルを貼ってご使用ください。ラベル貼り付け位置は左のイラストをご覧ください。

パソコンでフォーマット (初期化) した“メモリースティック”は

パソコン (Windows OS, Macintosh OS) でフォーマットした“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。

画像の互換性について

- 本機で“メモリースティック”に記録された静止画像ファイルは、日本電子工業振興会にて制定された統一規格“Design Rules for Camera File Systems”に対応しています。統一規格に対応していない機器 (DCR-TRV900、DSC-D700/D770) で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック”が本機で使用できないときは、78ページの手順にしたがい、フォーマット (初期化) してください。フォーマットすると“メモリースティック”に記録してあるデータはすべて消去されますのでご注意ください。

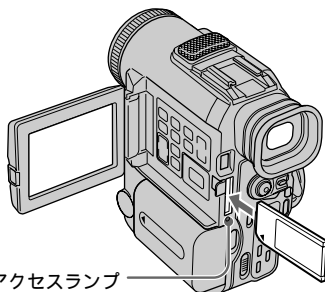
- Memory Stick (“メモリースティック”)  はソニー株式会社の商標です。
- PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

“メモリースティック”を使う - はじめに(つづき)

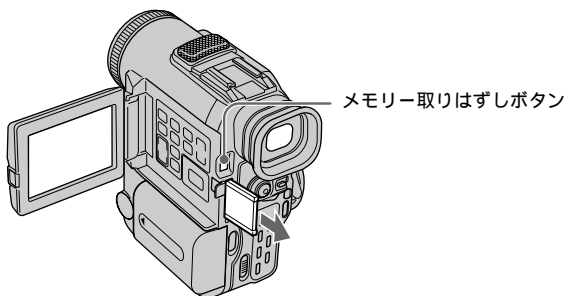
アクセスランプ点灯中および点滅中はデータの読み込み、または書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。またこのとき電源を切ったり、“メモリースティック”やバッテリーを取りはずすとデータが壊れることがあります。

“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”のソニーロゴ面が液晶画面側になるようにして、◀マークの向きに合わせて入れます。



“メモリースティック”を取り出す
メモリー取りはずしボタンを押す。



ご注意

画像によっては、画質モードを変えても画質に差がないことがあります。

画質モードの違いは

画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は、画質モードと画像サイズにより、次のようになります。

(画像サイズは、メニューで1152×864、640×480から選ぶことができます。)

<画像サイズが1152×864のとき>

画質モード	メモリー容量
スーパーファインモード	約600Kバイト
ファインモード	約300Kバイト
スタンダードモード	約200Kバイト

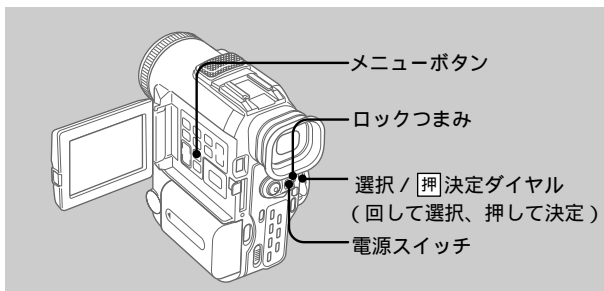
<画像サイズが640×480のとき>

画質モード	メモリー容量
スーパーファインモード	約190Kバイト
ファインモード	約100Kバイト
スタンダードモード	約60Kバイト

画質モードは再生時は表示されません。

画質モードを選ぶ


あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

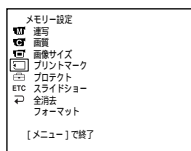


- 1 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。

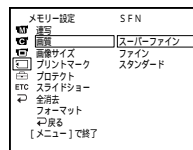
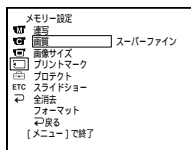
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。

- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

- 3 選択/押決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



- 4 選択/押決定ダイヤルを回して「画質」を選び、押して決定する。



メモリースティックを使う

“メモリースティック”を使う - はじめに(つづき)

画質の設定について

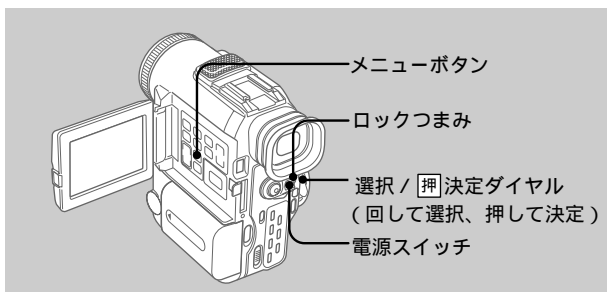
設定	意味
スーパーファイン 表示：SFN	最も高画質で記録するときに使います。記録可能な静止画の数は、「ファイン」より減ります。約1/3に圧縮されます。「SFN」と表示されます。
ファイン 表示：FINE	画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。「FINE」と表示されます。
スタンダード 表示：STD	標準の画質です。約1/10に圧縮されます。「STD」と表示されます。


ご注意

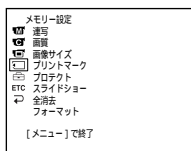
本機で画像サイズ1152×864で記録した静止画ファイルを、1152×864の画像サイズのない他機で再生した場合、画像の一部が表示されないことがあります。

画像サイズを選ぶ

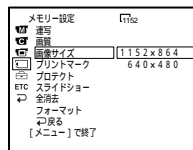
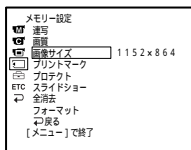
静止画の記録時の画像サイズには2種類あります。「1152×864」または「640×480」から選ぶことができます。
(ビデオモード時は、「640×480」のみになります。)



- 1 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。
- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 3 選択/押決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



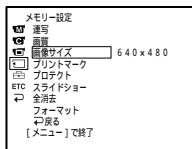
- 4 選択/押決定ダイヤルを回して「画像サイズ」を選び、押して決定する。



メモリースティックを使う

“メモリースティック”を使う - はじめに(つづき)

- 5 選択 / 押 決定ダイヤルを回して希望の画像サイズを選び、押して決定する。



表示は次のように変わります。



画像サイズについて

設定	意味	表示	
		記録時	再生時
1152 × 864	静止画を1152 × 864サイズで記録する。	SFN	
640 × 480	静止画を640 × 480サイズで記録する。	SFN	

ご注意

付属の“メモリースティック”をフォーマットすると、“メモリースティック”にあらかじめ記録してあるサンプル画像データはすべて消去されますのでご注意ください。

1枚の“メモリースティック”に記録できる枚数の目安
画質モードと画像サイズの設定および被写体の状況で撮影枚数が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“メモリースティック”に記録できる枚数です。

4Mバイトタイプ(付属)

画像サイズ	640×480	1152×864
スーパーファイン	約20枚	約6枚
ファイン	約40枚	約12枚
スタンダード	約60枚	約18枚

8Mバイトタイプ(別売り)

画像サイズ	640×480	1152×864
スーパーファイン	約40枚	約12枚
ファイン	約81枚	約25枚
スタンダード	約122枚	約37枚

16Mバイトタイプ(別売り)

画像サイズ	640×480	1152×864
スーパーファイン	約82枚	約25枚
ファイン	約164枚	約51枚
スタンダード	約246枚	約75枚

32Mバイトタイプ(別売り)

画像サイズ	640×480	1152×864
スーパーファイン	約164枚	約52枚
ファイン	約329枚	約104枚
スタンダード	約494枚	約152枚

“メモリースティック”に静止画を撮る - メモリーフォト撮影

“メモリースティック”に静止画を記録することができます。

電源スイッチを「メモリー」にすると

以下の機能が使えません。

- ワイドTV
 - デジタルエフェクト
 - ピクチャーエフェクト
 - タイトル
 - デジタルズーム
 - 手ぶれ補正
 - フェーダー
 - キャンドルモード
- (表示が点滅します)
- スポーツレッスンモード
- (表示が点滅します)

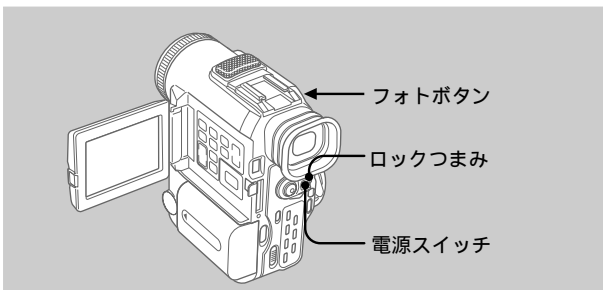
静止画を記録中は電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

リモコンのフォトボタンを押すと押したときに映っている画像が記録されます。

手順2でフォトボタンを軽く押すと画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

メモリーモードで撮影中はカメラモード時に比べて画角が少し広くなります。

オートフォーカスで撮影するときはあらかじめ、フォーカスが合っていることを確認してください。



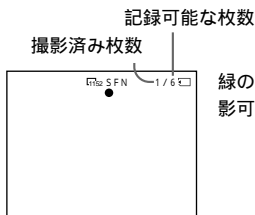
あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。

2 フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になる。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。



緑の●が点滅から点灯に変わり、撮影可能となる。

3 フォトボタンを強く押し込む。



「カシャ」とシャッター音がして、画像が静止画になる。バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを押し込んだときの画像が“メモリースティック”に記録される。

連写の枚数は
画像サイズと“メモリスティック”の残量によって変わることがあります。

画像サイズ	枚数
640×480	16枚まで
1152×864	4枚まで

ビデオフラッシュライト(別売り)は
連写/マルチ画面連写をしているときは使えません。

連続して撮る(連写)

あらかじめ下記の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

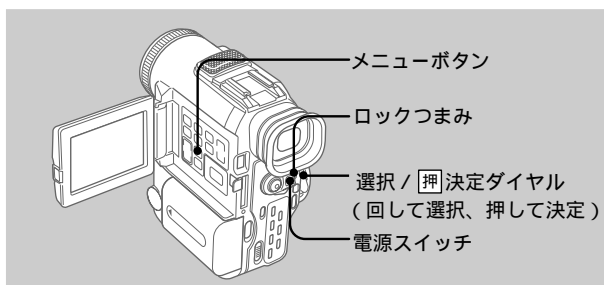
通常の連写
画像サイズが1152×864のときは、連続して4枚までの画像を連続撮影する。
画像サイズが640×480のときは、連続して16枚までの画像を連続撮影する。



マルチ画面連写(画像サイズが640×480で記録されます)
9枚の静止画を連続撮影して9分割の画面に表示する。



フォトボタンを強く押し込んでいる間、画像サイズに応じた最大枚数(1152×864:4枚、640×480:16枚)を連続して撮影します。ボタンを押し込むのをやめると、撮影は終わります。



① 電源スイッチを「メモリー」にする。


ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。

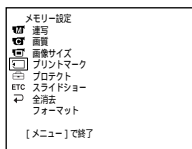
”
メモリスティック
“を使う

“メモリースティック”に静止画を撮る - メモリーフォト撮影(つづき)

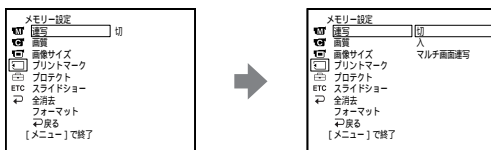
セルフタイマーまたはリモコンを使って撮影したときは自動的に最大枚数まで連続して撮影します。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

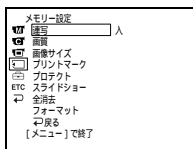
3 選択/押決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



4 選択/押決定ダイヤルを回して「連写」を選び、押して決定する。





5 選択/押決定ダイヤルを回して「入」を選び、押して決定する。



“メモリースティック”の容量がいっぱいになると「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影は終了します。

連写の設定について

設定	意味(画面に出る表示)
切	連続して撮影しません。
入	約0.5秒間隔で16枚までの静止画を連続して撮影します。()
マルチ画面連写	約0.5秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。このとき、静止画の画像サイズは640×480で記録されます。()

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。

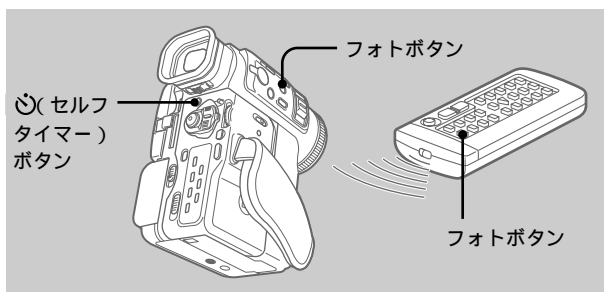
- セルフタイマー“メモリースティック”フォト撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切」か「ビデオ」にしたとき。

画像の確認

セルフタイマー撮影をするとき、本体のフォトボタンを軽く押して、画像を確認できます。深く押し込むと、セルフタイマー撮影が始まります。

セルフタイマー“メモリースティック”フォト撮影

セルフタイマーを使って自分の静止画を撮影することができます。



- 1** 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。
- 2** (セルフタイマー) ボタンを押す。
セルフタイマー表示 ⌚ が出る。
- 3** フォトボタンを押す。
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が早くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

秒読み中に撮影を止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度 (セルフタイマー) ボタンを押して、セルフタイマー表示 ⌚ を消す。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

静止画を重ねて撮る - メモリーミックス

“メモリースティック”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。

M. クロマキー (メモリークロマキー)

イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分抜いて動画と重ねる。

(M. クロマキー)



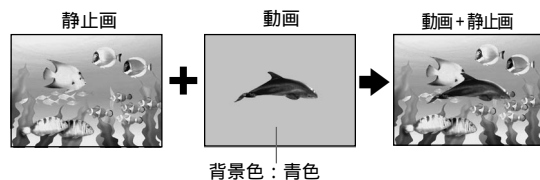
(M. ルミキー)



M. ルミキー (メモリールミキー)

手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルを“メモリースティック”に入れておくと便利です。

(C. クロマキー)



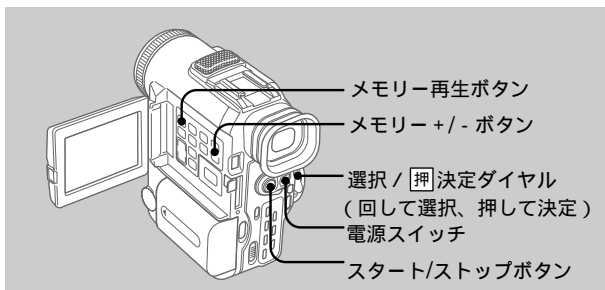
C. クロマキー (カメラクロマキー)

背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。(青色を背景にして被写体を撮影し、青色の部分を抜く。)

撮影中はモードを選び直すことはできません。

サンプル画像は

- 付属の“メモリースティック”には、サンプルとして20枚の画像が記録されています。
 - M.クロマキー用18枚 (枠など) DSC00001~DSC00018
 - C.クロマキー用2枚 (背景になる絵など) DSC00019~DSC00020
- サンプル用画像はプロテクトされています。(108ページ)



- 記録用のミニDVテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「カメラ」にする。

ご注意

重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにははっきりと見えないことがあります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは本機で再生できないことがあります。

2 [撮影スタンバイ中]に

メモリー再生ボタンを押す。

最後に撮影した静止画、または最後に合成した静止画が画面の右下の小画面に出る。



静止画

3 メモリー +/- ボタン、またはリモコンの +/- ボタンを押して、重ねたい静止画を選ぶ。

前の画像を出すときは、- ボタンを押す。

次の画像を出すときは、+ ボタンを押す。

4 選択 / 押決定ダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



静止画

静止画が撮影スタンバイ中の動画と重なる。

次の順で変わります。

M. クロマキー ↔

M. ルミキー ↔ C. クロマキー

5 選択 / 押決定ダイヤルを押す。



静止画が動画と重なる。

”
メモリースティック
“を使う

静止画を重ねて撮る - メモリーミックス(つづき)

- 6** 選択 / 押 決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

M. クロマキー	静止画の、青色の部分の調整。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の調整。
C. クロマキー	動画の、青色の部分の調整。



バー表示を減らすほど効果が大きくなる。

- 7** スタート/ストップボタンを押して撮影を始める。

静止画を選び直す

手順6の後でメモリー +/- ボタンを押す。

モードを選び直す

手順6の後で選択 / 押 決定ダイヤルを押す。手順4に戻る。

メモリークロマキー / メモリールミキー / カメラクロマキーを解除する

メモリー再生ボタンを押す。

ミニDVテープの画像を静止画として取りこむ

ミニDVテープに記録された画像を、“メモリースティック”に静止画として記録することができます。

また、ライン入力されている画像を取りこんで、“メモリースティック”に静止画として記録することもできます。

静止画の画像サイズは640×480になります。

アクセランプ点灯中および点滅中は絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

画面に「メモリースティックを確認してください」と表示されたら

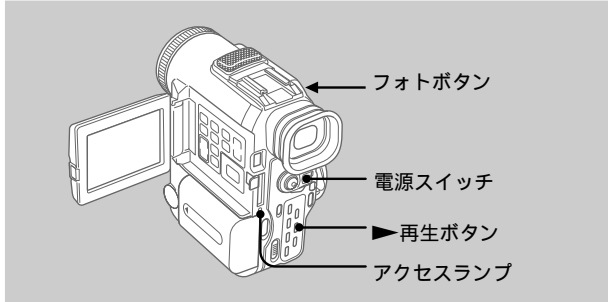
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“メモリースティック”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

再生中にフォトボタンを軽く押すとテープは一時停止します。

ミニDVテープに記録された音声は記録できません。

タイトルは記録できません。フォトボタンを押し込んで画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

リモコンのフォトボタンを押すと押したときに映っている画像が記録されます。



- ・録画済みのミニDVテープを入れておいてください。
- ・あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

① 電源スイッチを「ビデオ」にする。

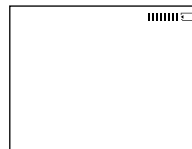
② ▶再生ボタンを押す。
ミニDVテープの画像が映る。

③ 画像を取りこみたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。



ミニDVテープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出る。このとき記録はされません。

④ フォトボタンを強く押し込む。



バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを押し込んだときの画像が“メモリースティック”に記録される。ミニDVテープの画像は再生に戻る。

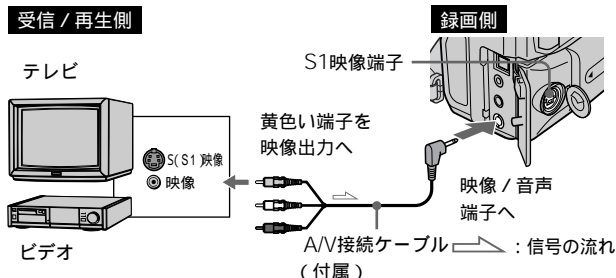
”メモリースティックを使う“

ミニDVテープの画像を静止画として取りこむ(つづき)

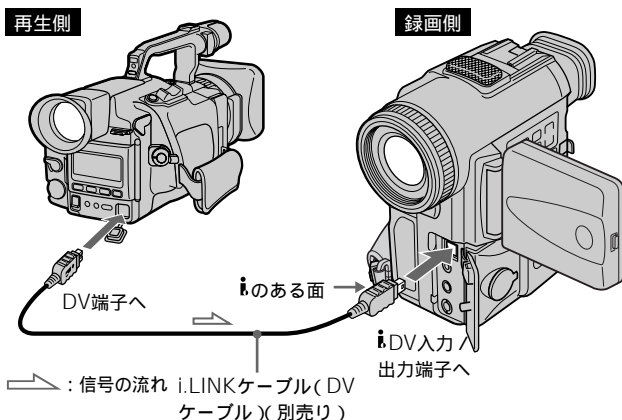
別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります。ビデオやテレビにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子(映像)のかわりにS映像ケーブル(別売り)で本機のS1映像端子とビデオやテレビのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。


他機をつないで静止画を取りこむ

映像入力端子から取りこむ場合



① DV入力 / 出力端子から取りこむ場合



- 1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にして、メニューのの項目の「画面表示」を「パネル」にする。
- 2 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。
他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。
- 3 97ページの手順3と4を行う。

ミニDVテープの静止画を自動記録する - オートフォトコピー

サーチ機能を使って、ミニDVテープに記録されている静止画のみを“メモリースティック”

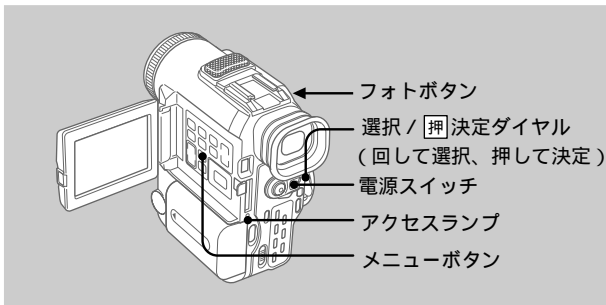
”に順次取りこんで、記録することができます。

静止画の画像サイズは640×480になります。


アクセスランプ点灯中および点滅中は絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”やバッテリーを取り取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

ミニDVテープの静止画をすべてコピーしたいときはミニDVテープを最初まで巻き戻してから、コピーを行ってください。

“メモリースティック”の誤消去防止つまみが「LOCK」になっていると「実行できません」と表示されます。



- 録画済みのミニDVテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。(74ページ)
- 3 選択 / 押決定ダイヤルを回して「

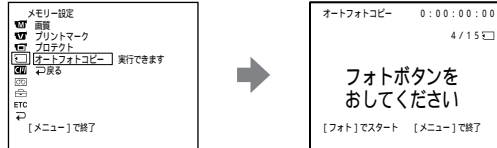
”メモリースティックを使う”

ミニDVテープの静止画を自動記録する - オートフォトコピー(つづき)

途中で“メモリスティック”
を入れかえると
前の“メモリスティック”
に記録した画像データの続き
の画像から記録し始めます。

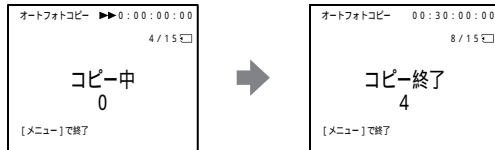
- 4** 選択 / 押決定ダイヤルを回して「オートフォトコピー」を選び、押して決定する。

「フォトボタンをおしてください」の表示が出る。



- 5** フォトボタンを強く押し込む。

ミニDVテープの静止画が“メモリスティック”に記録される。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」の表示が出る。



コピーを中止する / 終了する

メニューボタンを押す。

“メモリスティック”の容量がいっぱいになると

「メモリーフル」と表示され、コピーは終了します。

“メモリスティック”を入れ換え、もう1度手順2から操作してください。

静止画を見る - メモリーフォト再生

“メモリースティック”に記録してある静止画を見ることができます。

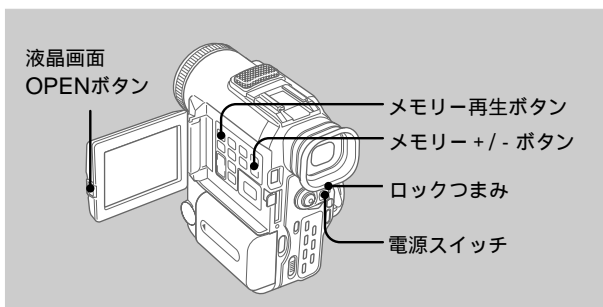
また、インデックス表示をすると、画像を6枚ずつ表示することができます。

テレビで見るときは

- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音(ハウリング)が出る場合があります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは本機で再生できないことがあります。

“メモリースティック”内部に表示できる画像が1枚もないときは「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。



あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

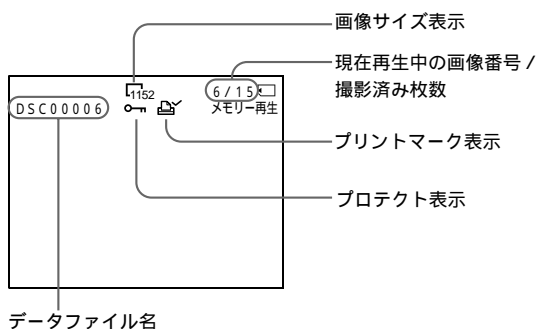
- 1** 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。
- 2** 液晶画面OPENボタンを押し、液晶画面を開く。
- 3** メモリー再生ボタンを押す。
最後に撮影した画像が出る。
- 4** メモリー +/- ボタン、またはリモコンの +/- ボタンを押して、静止画を選ぶ。
- : 前の画像を見るとき
+ : 次の画像を見るとき

メモリーフォト再生を止める
もう1度メモリー再生ボタンを押す。

”メモリースティックを使う”

静止画を見る - メモリーフォト再生(つづき)

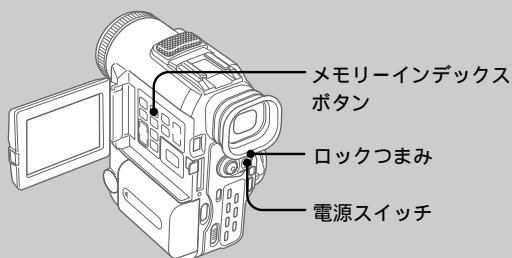
静止画再生中の画面表示



パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データはインデックス表示をすることができない場合があります。

画像を6枚ずつ表示する(インデックス表示)

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。



- 1 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。

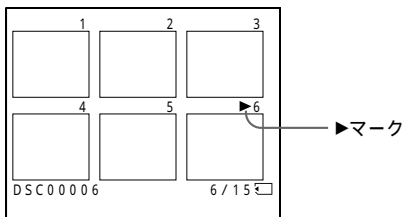
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。

ご注意

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“メモリースティック”の記録順を示す番号です。データファイル名(83ページ)とは違いますのでご注意ください。

② メモリーインデックスボタンを押す。

インデックス表示になる。インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。



- 次の6枚を見るときは、メモリー + ボタンを押し続ける。
- 前の6枚を見るときは、メモリー - ボタンを押し続ける。

1枚の表示(シングル表示)に戻す

メモリー +/- ボタンで▶マークを表示したい画像に移動し、メモリー再生ボタンを押す。

“メモリースティック”の画像をパソコンに取りこむ

ノート型パソコンに静止画像を取りこむには、別売りの“メモリースティック”用PCカードアダプターが必要です。

PC/AT互換機に静止画像を取りこむには、別売りのハンディカム専用パソコン接続キットが必要です。

詳しくは、“メモリースティック”用PCカードアダプターまたはハンディカム専用パソコン接続キットの取扱説明書をご覧ください。

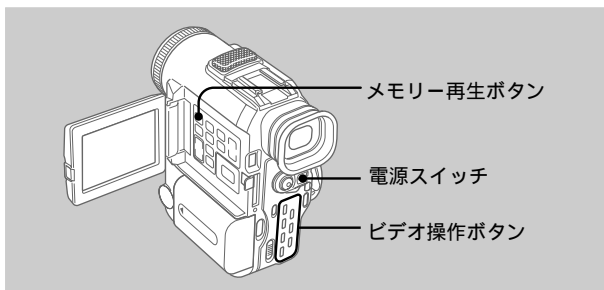
“メモリースティック”で撮った画像をミニDVテープにダビングする

あらかじめ“メモリースティック”に記録した静止画やタイトルなどをミニDVテープにダビングすることができます。

ダビング中はメモリー再生ボタン、メモリーインデックスボタン、メモリー消去ボタン、メモリー+ボタン、メモリー-ボタンは操作できません。

インデックス画面は録画できません。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データはダビングできないことがあります。



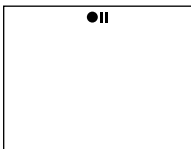
- 記録用のミニDVテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

① 電源スイッチを「ビデオ」にする。

② ビデオ操作ボタンを使って、静止画をダビングしたい場所を探し、ミニDVテープを再生一時停止にする。



③ ●録画ボタンを2つ同時に押し、録画一時停止にする。

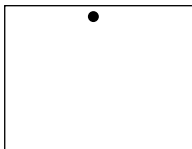


録画中または録画スタンバイ中に画面表示ボタンを押すとタイムコードなど、ミニDVテープに関する表示以外に、メモリー再生表示、ファイル名表示も見ることができます。

4 ダビングしたい静止画像をメモリー再生する。

5 ■一時停止ボタンを押して録画を始める。

録画を止めたいところでもう1度■一時停止ボタンを押す。



6 他にもダビングする場合は、手順4と5を繰り返す。

ダビングを途中で中止するときは

■停止ボタンを押す。

”
メモリー
スティック
“を使う

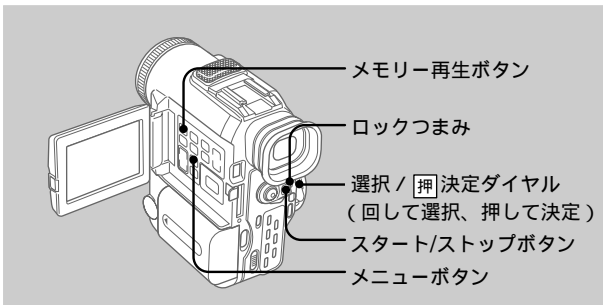
静止画を順番に自動再生する - スライドショー

画像を順番に次々と自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテー

ションなどに便利です。

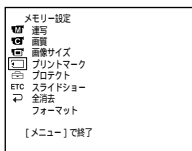
テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV
接続ケーブルでつないでくだ
さい。

設定中に“メモリースティッ
ク”を入れ換えると
スライドショーは動作しませ
ん。“メモリースティック”を
入れ換えたら、必ず初めから
操作し直してください。

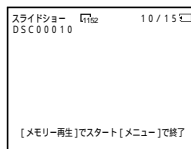
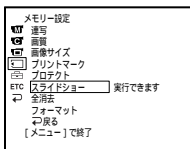


あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

- 1 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。
- 2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 3 選択/決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



- 4 選択/決定ダイヤルを回して、「スライドショー」を選び、押して決定する。



5 メモリー再生ボタンを押す。

“メモリースティック”の画像が順番に再生される。

スライドショーを中止する / 終了する

メニューボタンを押す。

スライドショーを一時停止する

メモリー再生ボタンを押す。

お好みの画像からスライドショーを始める

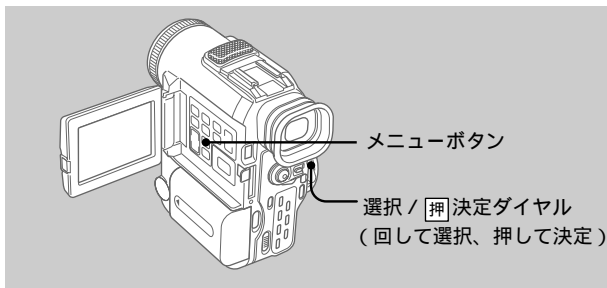
手順2の前にメモリー +/- ボタンで最初の画像を選んでおく。

大事な画像を残す - プロテクト


大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止(プロテクト)指定ができます。

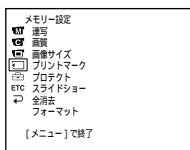
ご注意

- 画像にプロテクトがかかっていても“メモリスティック”をフォーマットすると“メモリスティック”の内容はすべて失われますのでご注意ください。フォーマットする前に内容を確認してください。
- “メモリスティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているとプロテクトは実行できません。

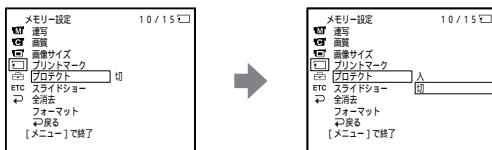


あらかじめ“メモリスティック”を入れておいてください。

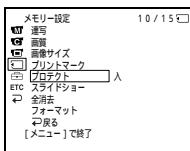
- 1** 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。
- 2** プロテクトする画像を再生する。
(101ページ)
- 3** メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 4** 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して、「」を選び、押して決定する。




- 5 選択 / 押 決定ダイヤルを回して、「プロテクト」を選び、押して決定する。



- 6 選択 / 押 決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。



- 7 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

選択された画像にプロテクトがかかり、ファイル名に「」マークが付きます。

プロテクトを解除する

手順6で「切」を選び、選択 / 押 決定ダイヤルを押す。

画像を消す - 消去

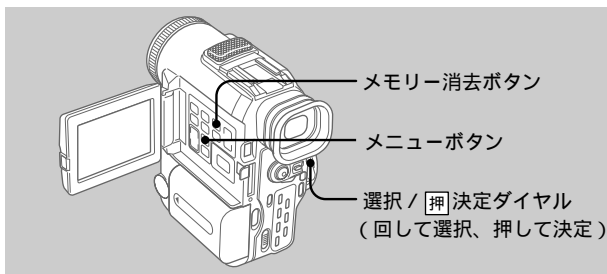
不要になった画像を消去できます。
撮影したすべての画像を一度に消去したり、

画像を選んで消去したりできます。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると消去は実行できません。

不要になった画像を消去する



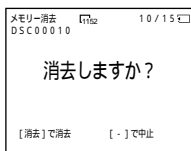
あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

- 1 電源スイッチを「ビデオ」または「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。

- 2 消去したい画像を再生する。(101ページ)

- 3 メモリー消去ボタンを押す。

「消去しますか?」の表示が出る。



- 4 もう1度メモリー消去ボタンを押す。
画像が消去される。

画像の消去を中止する

手順4でメモリー - ボタンを押す。

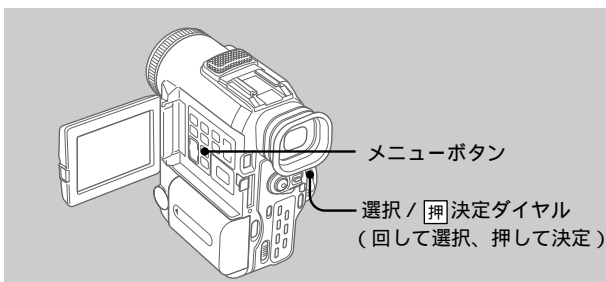
インデックス表示している画像を消す

メモリー +/- ボタンで▶マークを削除したい画像に移動してから手順3と4を行ってください。


「消去中」と表示されているときは
電源スイッチを切り換えた
り、ボタン操作を行わないで
ください。

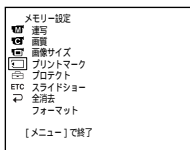
すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

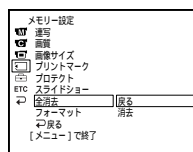
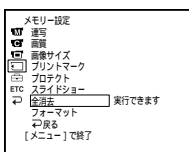


あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

- ① 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)ににする。
- ② メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- ③ 選択 / 押決定ダイヤルを回して、「」を選び、押して決定する。



- ④ 選択 / 押決定ダイヤルを回して「全消去」を選び、押して決定する。

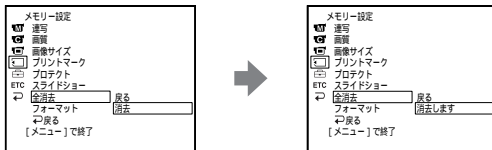


”
メモリースティック
“を使う

画像を消す - 消去(つづき)

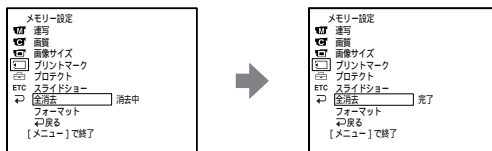
- 5 選択 / 押 決定ダイヤルを回して「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示に変わる。



- 6 選択 / 押 決定ダイヤルを押して決定する。

「消去中」と表示され、プロテクトがかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示される。



全消去を中止する

手順5で「戻る」を選び、選択 / 押 決定ダイヤルを押す。

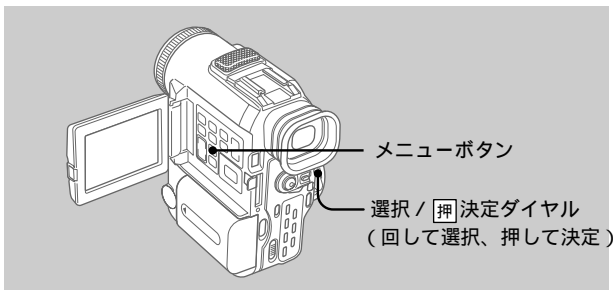
プリントマークを付ける - プリントマーク

“メモリースティック”に撮影した画像の中から、プリントしたい画像を直接指定して、マークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。


本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF (Digital Print Order Format) 規格に対応しています。

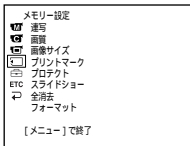
ご注意

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているとプリントマークは実行できません。



あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

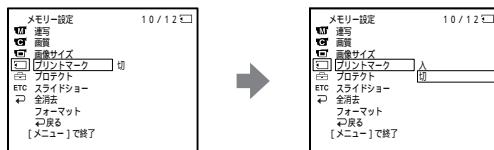
- 1 電源スイッチを「メモリー」か「ビデオ」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側(解除)にする。
- 2 プリントしたい画像を再生する。
(101ページ)
- 3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。
- 4 選択 / 押決定ダイヤルを回して「」を選び、押して決定する。



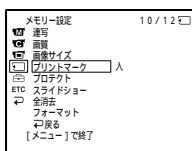
メモリースティックを使う

プリントマークを付ける - プリントマーク(つづき)

- ⑤ 選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して、「プリントマーク」を選び、押して決定する。



- ⑥ 選択 / **[押]** 決定ダイヤルを回して、「入」を選び、押して決定する。



- ⑦ **[メニュー]** ボタンを押してメニュー画面を消す。

プリントマークを付けた画像のファイル名に「**[つづき]**」マークがつきます。

プリントマークを解除する

手順6で「切」を選び、選択 / **[押]** 決定ダイヤルを押す。

使えるビデオカセット

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。^{MN} **IX** マークのついたカセットをお使いください。*

8、**Hi8**方式や、**VHS**、**VHS-C**、**SVHS**、**SVHS-C**、**8**、**ED Beta**、**IX**、**8**方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのもの、カセットメモリーなしのものがあります。カセットメモリー付きカセットには**CM** (Cassette Memory) マークが付いています。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報(録画日時、タイトルなど)を書き込んだり、呼び出したりします。

カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの冒頭や途中に一度無記録部を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違っ表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部を作らないために、下記の操作を行ってください。

撮影の途中でテープを出し入れしたり、ビデオモードで再生した場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、上記の点に注意して新たにテープの

最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に、機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出る場合があります。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。このようなカセットを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています 録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

その他

カセットの**CM**16K マークについて
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット

(**CM**16K マークが本体側面についています)まで対応しています。

使えるビデオカセット(つづき)

音声多重記録テープを再生するとき

ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。(74ページ)

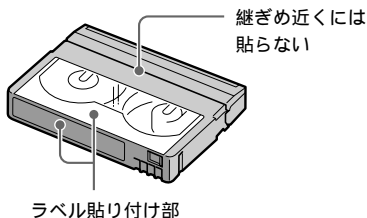
メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声+副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

本機では二重音声は記録できません。

ミニDVカセットについてのご注意

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。故障の原因になります。



ミニDVカセットを使用した後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。(画像や音声乱れる原因となります。)巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

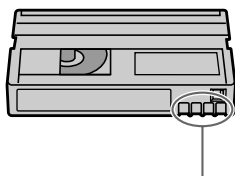
カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れなおしてみてください。金メッキ端子にゴミなどが付着して機能が働かないことがあります。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

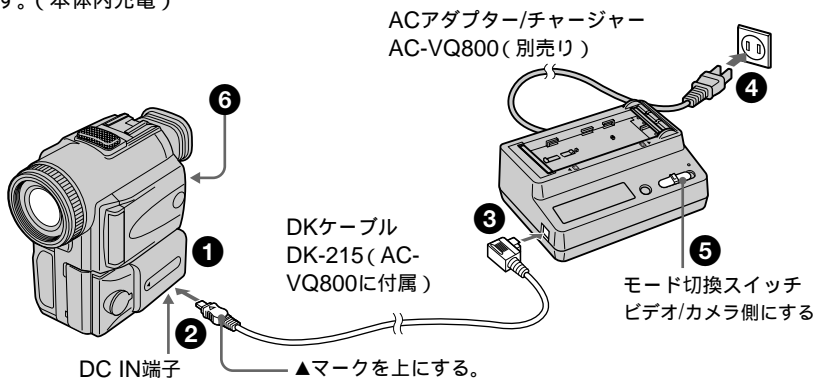
カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒などでカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



金メッキ端子

本体に取り付けたバッテリーを充電する

本機に取り付けたバッテリーを充電することができます。(本体内充電)



ご注意

ACアダプター/チャージャーに接続したDKケーブルを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

本体内充電中はACアダプター/チャージャーに取り付けたバッテリーは充電されません。

本体内充電時間

バッテリー	満充電	実用充電
NP-FM50	150	90
NP-FM70	240	180
NP-FM90	330	270

使い切ったバッテリーを充電したときの時間(約 分)

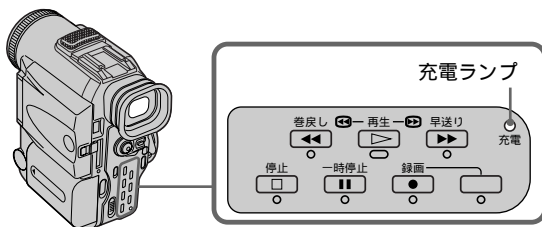
- 1 バッテリーを本機に取り付ける。(8ページ)
- 2 DC IN端子カバーを開け、DKケーブルを▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。
- 3 DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。
- 4 電源コードをコンセントにつなぐ。
- 5 ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」にする。

その他

本体に取り付けたバッテリーを充電する(つづき)

6 本機の電源スイッチを「切」にする。

充電が始まると、充電ランプが点灯し、終わるとランプは消える(実用充電)。充電ランプが消えたあとさらに1時間程度充電を続けると若干長く使える(満充電)。



7 DKケーブルを本機から取りはずす。






バッテリーの充電が終わったら、DKケーブルを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましよう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C: : 」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。126ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチが「カメラ」になっていない。 テープが終わりになっている。 カセットが誤消去防止状態になっている。 テープがヘッドドラムに貼りついている(結露)。 	<ul style="list-style-type: none"> 「カメラ」にする。 巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。 カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 	11 10、24 10 130
すぐに撮影が止まる。	スタート/ストップモードスイッチが「  」または「5秒」になっている。	スタート/ストップボタンを押すごとに撮影を始める/止めるようにするときは、「  」にする。	16
電源が途中で切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。 バッテリーが消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源スイッチを「切」にしてから、もう1度「カメラ」にする。 充電されたバッテリーを取り付ける。 	12 6、8
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度を調節する。	14
手ぶれ補正が働かない。	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	メニューで「入」にする。	74
オートフォーカスが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> 手動ピント合わせになっている。 オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスボタンを押して自動調節にする。 手動でピントを合わせて撮影する。 	40 40
フェーダーボタンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> スタート/ストップモードスイッチが「」または「」になっている。 デジタルエフェクト機能が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「」にする。 解除する。 	16 35

その他

故障かな？と思ったら(つづき)

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
液晶画面またはファインダー内に●が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	130
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	—	—
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
画面に白点が出ることもある。	スローシャッターやキャンドルモード、NIGHTSHOT + スローシャッターモードのときに出る現象で、故障ではありません。	—	—
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	79
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTスイッチが「入」になっている。	「切」にする。	17
画面が白すぎて画像が見えない。	明るいところでNIGHTSHOTスイッチを「入」にしている。	「切」にする。または暗いところで撮影する。	17
シャッター音が出ない。	メニューの「お知らせブザー」が「切」になっている。	「お知らせブザー」を「メロディー」または「ノーマル」にする。	74
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	—	メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。	74

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが動かない。	•電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	•「ビデオ」にする。	21
	•テープが終わりになっている。	•テープを巻き戻す。	24
画像がぼけたり、映らなかったりする。	テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。	調整し直す。	—
画像に横線が入る。またはぼけたり、映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	130
音声が小さい。または聞こえない。	•音量を最小にしている。	•音量を大きくする。	22
	•メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。	•「音声ミックス」を調節する。	74
タイトルサーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	44、115
	•メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•「入」にする。	74
	•タイトルが入っていない。	•タイトルを入れる。	66
	•テープの冒頭や途中に無記録部分がある。	—	44
撮影日を画面に出して日付サーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	46、115
	•メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•「入」にする。	74
	•テープの冒頭や途中に無記録部分がある。	—	46
アフレコした音声が聞こえない。	メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。	「音声ミックス」を調節する。	74
タイトルが出ない。	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	74
テレビやビデオにつないで再生するとき、画像や音が出ない。	—	AV接続ケーブルを映像 / 音声端子からいったん抜き、再びつなぐ。	—

故障かな？と思ったら(つづき)

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「ビデオ」「カメラ」にしても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが消耗している / 入っていない / 消耗が近い。 • ACアダプター/チャージャーのプラグがコンセントからはずれている。 • ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチが「充電」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 充電されたバッテリーを取り付ける。 • コンセントに差し込む。 • 「ビデオ/カメラ」にする。 	6, 8 9 9
エンドサーチが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> • カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。 • カセットを入れてからエンドサーチ操作をするまでに、一度も撮影していない。 	—	20, 24 20, 24
エンドサーチが誤動作する。	テープの冒頭や途中に無記録部分がある。	—	20
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	12
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> • 温度が極端に低いところで撮っている。 • 充電が不十分。 • バッテリーそのものの寿命。 	<ul style="list-style-type: none"> • 満充電する。 • 新しいバッテリーに交換する。 	— 6 8
バッテリー残量の表示が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> • 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 • バッテリーそのものの寿命。 • バッテリーが消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 新しいバッテリーに交換する。 • 満充電されたバッテリーを取り付ける。 	— 8 6, 8
カセットが取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電源(バッテリーやACアダプター/チャージャー)がはずれている。 • バッテリーが消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電源をきちんと接続する。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。 	8, 9 6, 8
Ⓜや▲が点滅し、開く/カセット取出しつまみ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	130
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	116
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	74

“メモリースティック”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none"> •すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。 •フォーマット形式の異なる“メモリースティック”を入れた。 •“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •“メモリースティック”が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> •不要な画像を消去してから撮影する。 •フォーマットするか、別の“メモリースティック”を使う。 •「LOCK」を解除する。 •“メモリースティック”を入れる。 	90、110 78 83 84
画像を消去できない。	<ul style="list-style-type: none"> •プロテクトされている。 •“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> •プロテクトを解除する。 •「LOCK」を解除する。 	108 83
フォーマットが実行できない。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	83
全消去が実行できない。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	83
プロテクトが実行できない。	<ul style="list-style-type: none"> •“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •プロテクト操作をしたい画像が表示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> •「LOCK」を解除する。 •メモリー再生ボタンを押し、て画像を表示する。 	83 101
プリントマークが実行できない。	<ul style="list-style-type: none"> •“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •プリントマーク操作をしたい画像が表示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> •「LOCK」を解除する。 •メモリー再生ボタンを押し、て画像を表示する。 	83 101
オートフォトコピーが実行できない。	<ul style="list-style-type: none"> •“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •バッテリーが消耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> •「LOCK」を解除する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。またはACアダプター/チャージャーを使う。 	83 8、9

故障かな?と思ったら(つづき)

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	<ul style="list-style-type: none"> • カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 • カセットのメモリーがいっぱいになっている。 • カセットが誤消去防止状態になっている。 • 無記録部分にタイトルを入れようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • カセットメモリー付きカセットを使う。 • ほかのタイトルを消去する。 • 誤消去防止ツマミを元に戻す。 • 録画された部分にタイトルを入れる。 	66、115 69 10 66
カセットになまえを付けれない。	<ul style="list-style-type: none"> • カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 • カセットのメモリー容量がいっぱいになっている。 • カセットが誤消去防止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • カセットメモリー付きカセットを使う。 • 不要なタイトルを消去する。 • 誤消去防止ツマミを元に戻す。 	72、115 69 10
ダビング編集集中、i.LINKケーブル(DVケーブル)を正しく接続しているのにモニター画像が出ない。		i.LINKケーブル(DVケーブル)を一度ぬいてからもう1度接続し直す。	52
DVシンクロエディットが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> • 録画機側の入力切り換えができていない。 • ソニー以外のDV機器と接続している。 • 無記録部分にプログラム設定しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 据え置きDVデッキなら「入力切り換え」を「DV入力」に、デジタルビデオカメラレコーダーなら電源スイッチを「ビデオ」にする。 • 通常のダビングを行う。 • 録画された部分に設定し直す。 	53 51 53
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> • メニューの「リモコン」を「切」にしている。 • リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 • リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 • 乾電池そのものの寿命。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「入」にする。 • 障害物を取り除く。 • ⊕極と⊖極を正しく入れる。 • 新しい乾電池に交換する。 	74 — 136 136
外部入力しているのに液晶画面やTVに入力した画像が映らない。	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」になっている。	「パネル」にする。	74

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	<ul style="list-style-type: none"> • 結露している。 • 本機に異常が発生している。 	<ul style="list-style-type: none"> • カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 • カセットを入れ直し、再度操作し直す。 	130 —
本体に取り付けたバッテリーを充電中、充電ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> • ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチが「充電」になっている。 • 充電が完了している。 • バッテリーが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「ビデオ/カメラ」側にする。 — • 正しく取り付ける。 	117 — 8
本体に取り付けたバッテリーが充電できない。	本機の電源スイッチが「切」になっていない。	電源スイッチを「切」にする。	117
バッテリー充電中に充電ランプが点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが正しく取り付けられていない。 • ACアダプター/チャージャーがはずれている。 • バッテリーが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正しく取り付ける。 • 正しく接続する。 • テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 	8 6 —
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。		もう1度満充電する。残量が正しく表示されません。	—
電源が入っているのに操作できない。		バッテリーまたはACアダプター/チャージャーのDKケーブルを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACアダプター/チャージャーのDKケーブルを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、スタート/ストップモードスイッチの下のRESET(リセット)ボタンを先のがったもので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。)	9、135
電源スイッチを「ビデオ」または「切」にして本機を動かすと、本体内部で「カタカタ」という音がする。		本機の機能の一部にリニア機構を採用しているためです。故障ではありません。	—

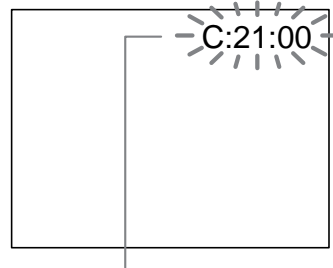
自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、ファインダー（または液晶画面）にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（ ）の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー（または液晶画面）



自己診断表示
「C: : 」:
お客様自身で正常に戻せる状態
「E: : 」:
テクニカルインフォメーションセン
ターに相談していただく状態

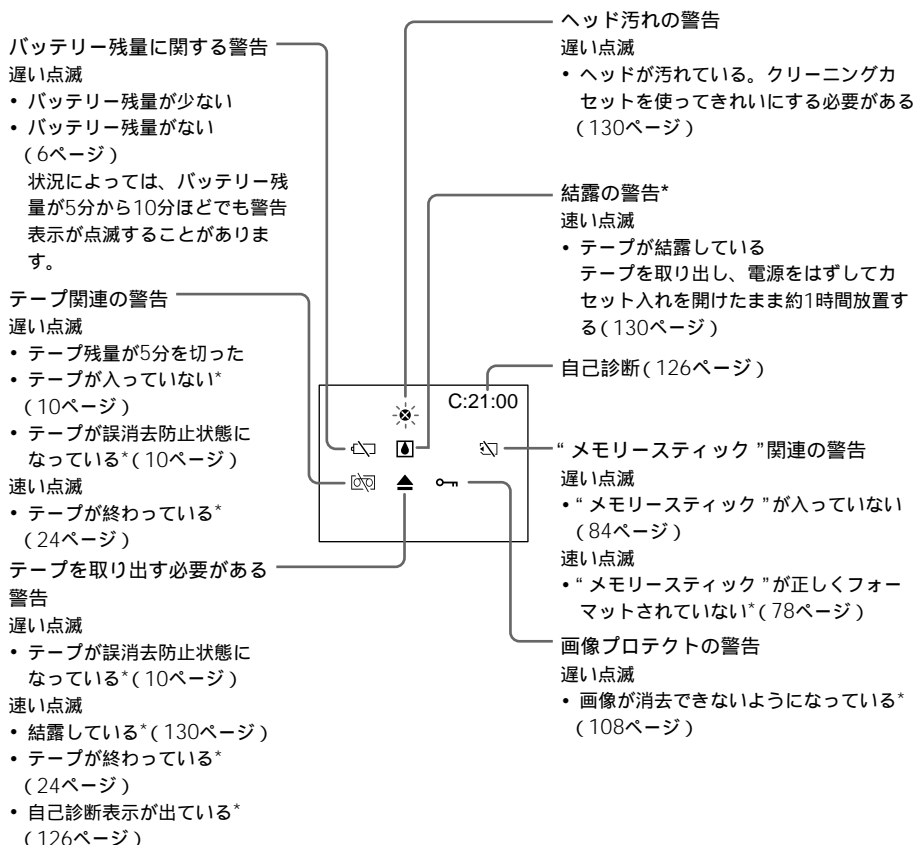
表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	6
C:21:	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	130
C:22:	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	130
C:31: C:32:	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> カセットを入れ直し、再度操作し直す。 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 	— —
E:61: E:62:	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、()内のページにあります。

警告表示



その他

警告表示とお知らせメッセージ(つづき)

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。

メッセージにしたがって操作してください。(カッコ内は参照ページ)

- バッテリーを取りかえてください(8ページ)
- このバッテリーは古くなりました 取りかえてください(8ページ)
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください(6ページ)
- テープが終わっています*(24ページ)
- カセットを入れてください*(10ページ)
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*(10ページ)
- メニューで日付・時刻をあわせてください(81ページ)
- ヘッドが汚れています/クリーニングカセットをつかってください(130ページ)
- 結露しています カセットを取りだしてください*(130ページ)
(テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。)
- ダビングプロテクトされています 録画できません*(115ページ)
- 音声モードがちがいます 確認してください(79ページ)*
- 録画モードがちがいます 確認してください(78ページ)*
- テープを確認してください(65ページ)*
- “i.LINK”ケーブルをぬいてください(63)*
- カセットメモリー付きカセットを入れなおしてください(115ページ)*
- カセットメモリーがいっぱいです(66ページ)*
- メモリースティックを確認してください(97ページ)*
- メモリーフル(100ページ)*
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです(92ページ)*
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください(83ページ)*
- ファイルがありません(101ページ)*
- メモリースティックを入れてください(84ページ)*

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。




海外で使う

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACアダプター/チャージャーAC-VQ800は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。トラベルコンバーターはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米、南米など	 主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	不要です。 ACアダプター/ チャージャーの プラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- ・アメリカ合衆国
- ・大韓民国
- ・フィリピン
- ・エクアドル
- ・台湾
- ・プエルトリコ
- ・エルサルバドル
- ・チリ
- ・ベネズエラ
- ・カナダ
- ・ドミニカ
- ・ペルー
- ・キューバ
- ・トリニダードトバゴ
- ・米領サモア
- ・グアテマラ
- ・パコ
- ・ボリビア
- ・グアム
- ・ニカラグア
- ・ホンジュラス
- ・コスタリカ
- ・ハイチ
- ・ミクロネシア
- ・コロンビア
- ・パナマ
- ・ミャンマー
- ・スリナム
- ・バミューダ
- ・メキシコ
- ・セントルシア
- ・バルバドス

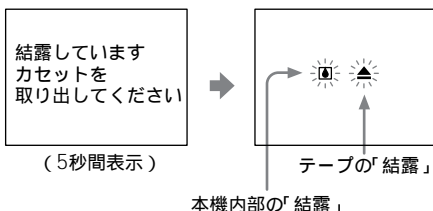
時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることが出来ます。詳しくは74ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、ファインダーや液晶画面に下記のような警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、開く/カセット取出しつまみ以外は動きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかつたり、ノイズの多い再生画像になったりします。

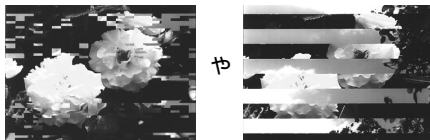
次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM12CLを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「🧼クリーニングカセットをつけてください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

正常画



ビデオヘッドが汚れているときの画像



このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所です。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立のあと

結露を起こりにくくするために本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、本機をビニール袋に入れて空気が入らないように密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにするをおすすめします。

バッテリーについて

- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。
- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから保管してください。
- バッテリーは湿度の低い、涼しい場所で保管してください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年程度全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。

ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz(ステレオ1、ステレオ2) 16ビット48kHz(ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	■ DV マークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP: 約18.81mm/秒 LP: 約12.56mm/秒
録画/再生時間	SP: 60分(DVM60使用時) LP: 90分(DVM60使用時)
早送り、巻き戻し時間	約1分50秒(ACアダプター/チャージャー使用時) 約2分30秒(バッテリーバック使用時) (いずれもDVM60使用時)
ファインダー	電子ファインダー: カラー
撮像素子	1/4インチCCD固体撮像素子 約107万画素(動画時有効画素数: 約69万画素 静止画時有効画素数: 約100万画素)
ズームレンズ	カール ツァイス 10倍(光学) 40倍(デジタル) f=4.2~42mm (35mmカメラ換算では カメラモード時: 48~480mm メモリーモード時: 40~400mm) F1.8~2.2 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾/HOLDモード、 * 雑屋内(3200K) * 屋外(5800K)
最低被写体照度	15ルクス(F1.8) 0ルクス(NIGHTSHOT時)
入・出力端子	
S1映像端子	入力/出力自動切り換え Y出力 1Vp-p 75 不平衡 C出力 0.286Vp-p 75 不平衡
映像/音声端子	入力/出力自動切り換え 映像: 1Vp-p、75 不平衡、同期負 音声: 327mV(47k 負荷時) 出力インピーダンス2.2k 入力インピーダンス47k 以上 ステレオミニジャック(Ø3.5)
ヘッドホン端子	

- LANC端子
- マイク入力端子
- DV端子

ステレオミニミニジャック(Ø2.5)
ステレオミニジャック(Ø3.5)
i.LINK(IEEE1394、4ピン特殊コネクターS100)

液晶画面

画面サイズ
総ドット数

2.5型
200,640ドット
横880×縦228

電源部、その他

電源電圧

バッテリー挿入口入力7.2V

消費電力(バッテリー使用時)

DC入力端子8.4V
3.9W
(ファインダー使用時)
4.4W

動作温度

(液晶画面使用時、明るさ標準)

保存温度

0 ~ +40
-20 ~ +60

外形寸法

61×127×123 mm

(最大突起部を除く)

(幅×高さ×奥行き)

本体質量

約550g(本体のみ)

撮影時総質量*

約650g

付属品

* バッテリーNP-FM50、テープ(DVM60)、レンズキャップ含む。
“メモリースティック” 4Mバイト(1)
レンズキャップ(1)
レンズフード(1)
ワイヤレスリモコン(1)
単3型乾電池(リモコン用)(2)
AV接続ケーブル(1)
バッテリー端子カバー(1)
撮り方ビデオ(1)
取扱説明書(1)
安全のために(1)
保証書(1)

“メモリースティック”

メモリーの種類

フラッシュメモリー
4Mバイト MSA-4A

動作電圧

2.7V~3.6V

消費電流

動作時平均: 約45mA

外形寸法

スタンバイ時: 約130µA
約50×2.8×21.5 mm(幅×高さ×奥行き)

本体質量

約4g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンター(本書の裏面参照)にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

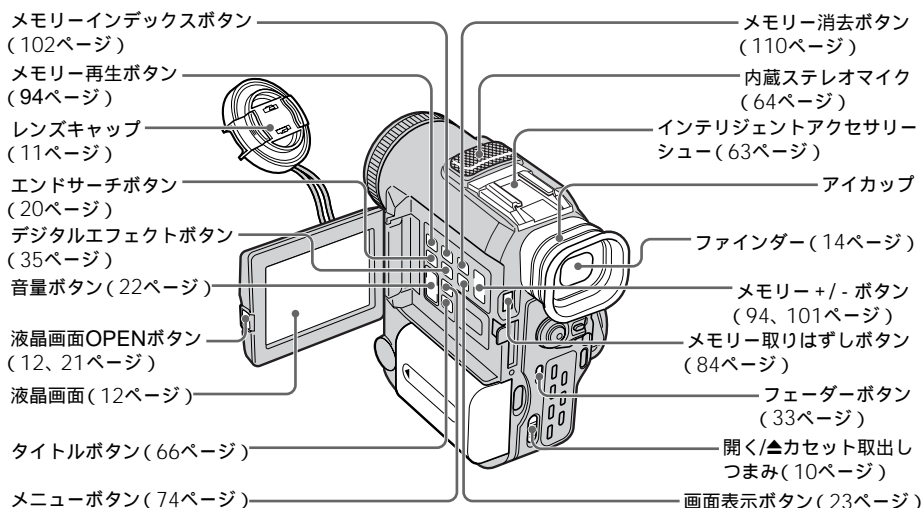
保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、()内のページにあります。

本体



この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。



ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

これらは商標です。

Mini DV Digital Video Cassette

C/M Cassette Memory



i はi.LINKのマークです。
i.LINKとはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様技術を意味し、ソニーの商標です。

i DV端子は、i.LINKに準拠したDV入出力専用の端子です。

i Intelligent Accessory Shoe

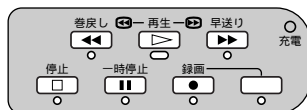
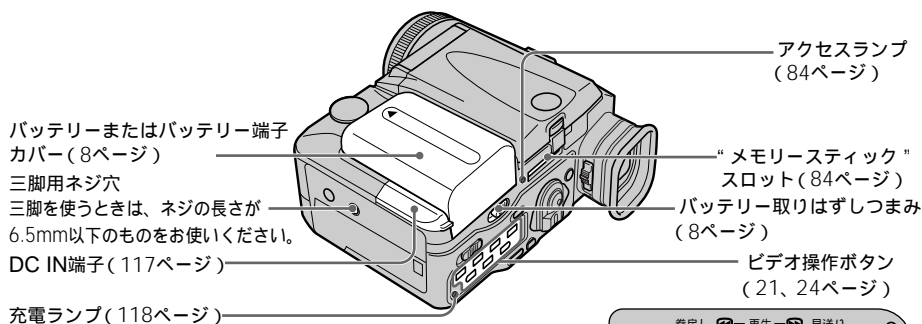
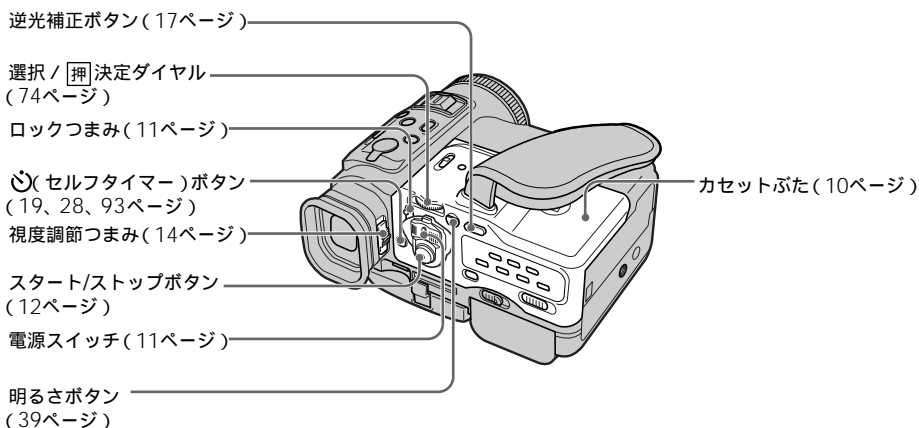
インテリジェントアクセサリシューについて

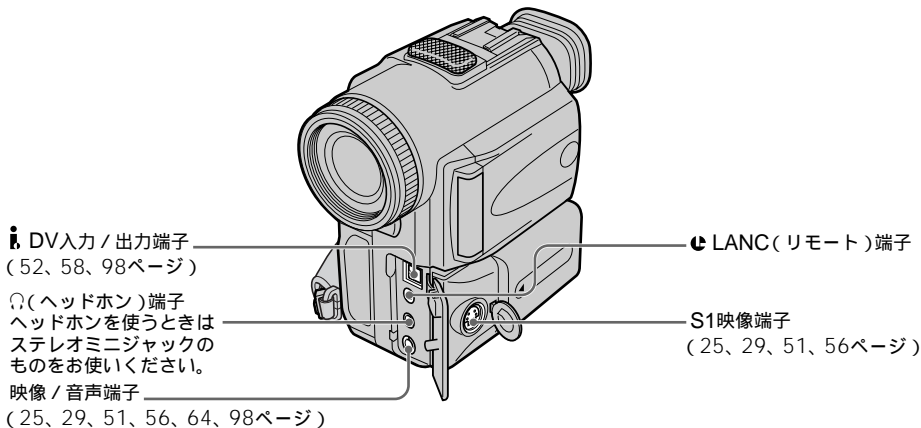
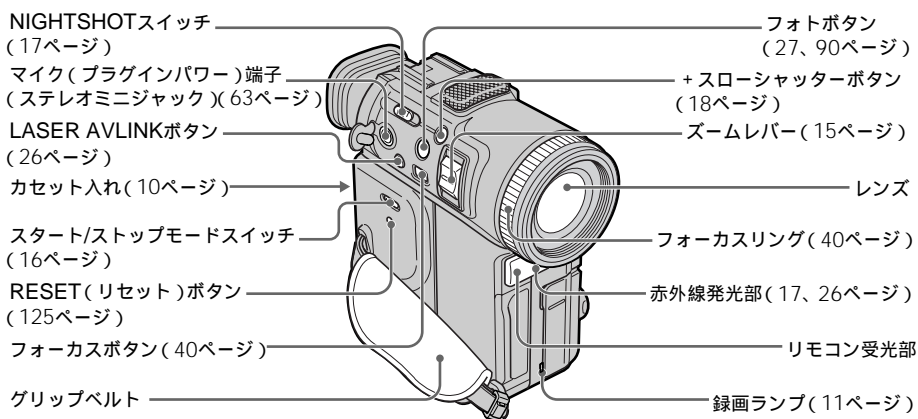
- 別売りの専用マイクやビデオライトなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。

- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリの電源の入/切ができます。
(お使いになるアクセサリの取扱説明書もあわせてご覧ください。)
- 取り付けたアクセサリがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

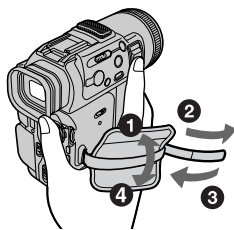
検索する

各部のなまえ(つづき)





グリップベルトのしめかた



グリップベルトはしっかりとしめてください。

LANC **Ⓛ** (リモート) マークについて

Ⓛ は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ヘッドホンを使うとスピーカーから音は出ません。

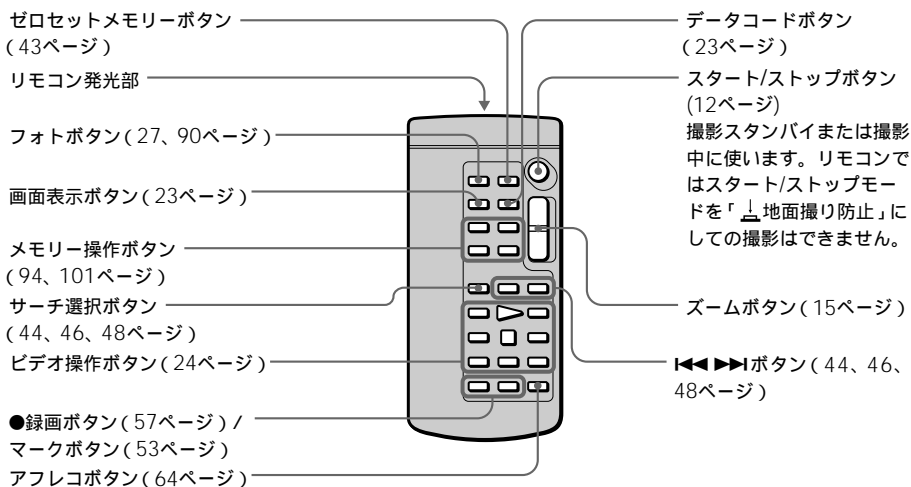
別売りの外部マイクを使う場合マイク (プラグインパワー) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

LASER AVLINK (レーザーエービリンク) とは **Ⓛ** マークのあるLASER AVLINK対応機器の間で赤外線による映像と音声の送受信をおこなうシステムです。

検索する

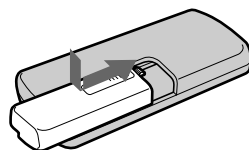
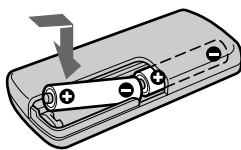
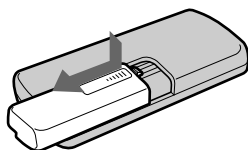
各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモコン



電池の入れかた

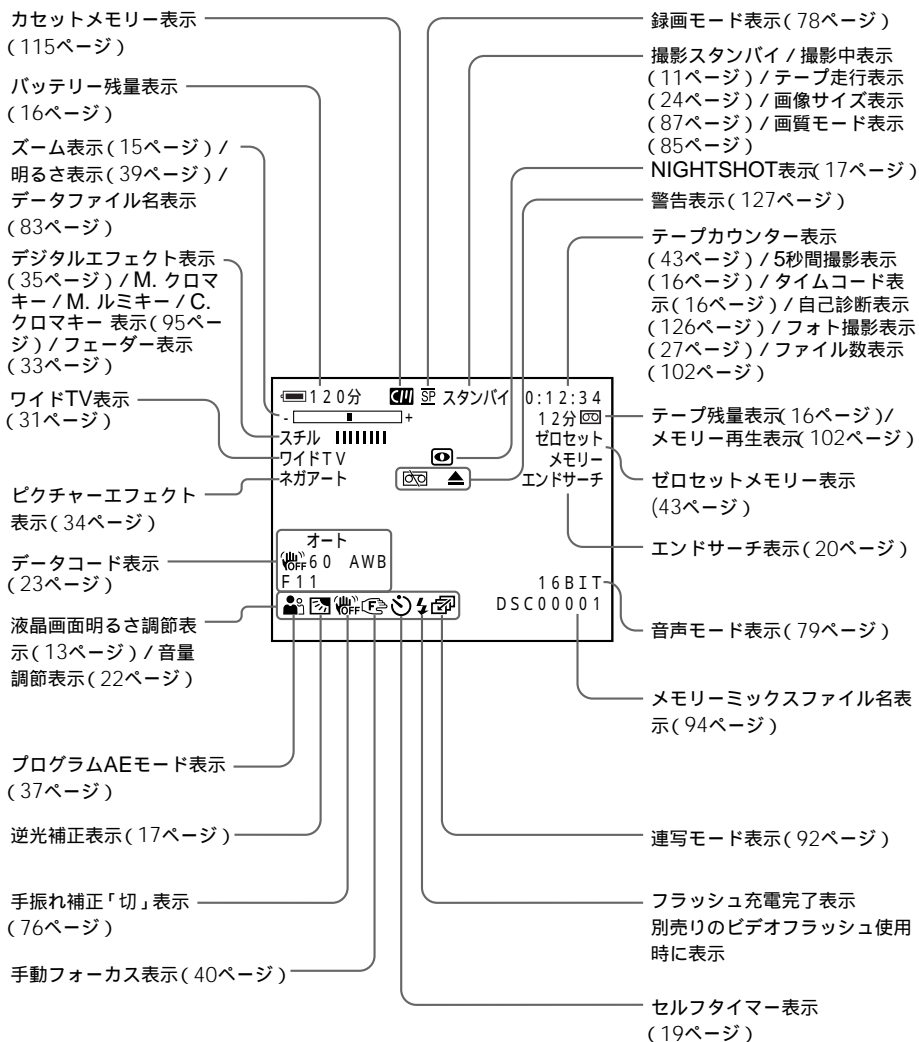
- 1 押しながらずらす。
- 2 入れる。
- 3 元に戻す。



リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示



主な機能ガイド

明るさが気になるときの機能 [撮影中]

あたりが真っ暗なとき	NIGHTSHOT	17ページ
ろうそく程度の明かりしかないとき	キャンドル	37ページ
花火大会や夕暮れ、夜景を撮るとき	サンセット&ムーン	37ページ
逆光(被写体の背後に光源がある)のとき	逆光補正	17ページ
結婚式・舞台など、一部分が明るいとき	スポットライト	37ページ
スキー場、海岸などとても明るいとき	ビーチ&スキー	37ページ

インパクトのある画像を作るための機能 [撮影中]

場面転換する	フェードイン・フェードアウト	32ページ
静止画を撮りたい	フォト	27、90ページ
画像をデジタル処理したい	ピクチャーエフェクト/ デジタルエフェクト	34、35ページ
被写体を引き立てたい	ソフトポートレート	37ページ
タイトルを入りたい	タイトル機能	66ページ

自然な画像にするための機能 [撮影中]

ズーム時の画質低下を押さえたい	メニュー：デジタルズーム	74ページ
意図的にピントを合わせたい	手動ピント合わせ	40ページ
遠くの被写体にピントを合わせたい	フウケイ	37ページ
ゴルフスイングなどの速さをとらえたい	スポーツレックス	37ページ

撮影後の編集・お手持ちの機器との接続のための機能 [撮影中]

ワイドテレビで見る予定のとき	ワイドTVモード	31ページ
パソコンに静止画を取りこみたい	“メモリースティック”	83ページ

撮影し終わったテープで行う機能 [再生中]

撮影した画像をデジタル処理したい	ピクチャーエフェクト/ デジタルエフェクト	41、42ページ
撮影した日時を確認する	データコード	23ページ
見たい場面にすばやく戻す	ゼロセットメモリー	43ページ
タイトルの入った場面を探す	タイトルサーチ	44ページ
静止画の場面を探す	フォトサーチ	48ページ
静止画だけ次々と見る	フォトスキャン	50ページ
モノラル音声、副音声で聞く	メニュー：パイリンガル	74ページ
コードレス再生したい	LASER AVLINK	26ページ

索引

ア行

明るさ調節	39
アフレコ	63
インサート編集	60
インデックスタイトル機能	66
インデックス表示	102
“インフォリチウム”バッテリー	6
液晶画面	12
エンドサーチ	20、24
オートシャッター	76
オーバーラップ	32
オールドムービー	35
おしらせブザー	80
お知らせメッセージ	128
音声多重テープ	116
音声ミックス	76
音声モード	79

カ行

外部マイク(別売り)	135
画質モード	85
カセットメモリー	2、115
カセットラベル	72
画像サイズ	87
カメラクロマキー	94
画面表示	23
カラーテレビ方式	129
逆方向再生	24
逆光補正	17
グリップベルト	135
警告表示	127
結露	130
広角	15
高速アクセス	24
誤消去防止ツマミ	10

サ行

撮影時間	7
サブ(音声)	76
自己診断表示	126
時差補正	80
実用充電	6
視度調節	14
地面撥り防止	16
充電	6
充電式ボタン電池	131
主音声	116
ズーム	15
スタート/ストップモード	16
スチル	35
ステレオ放送テープ	116
スライドショー	106
スローシャッター	35
赤外線送信	26

接続

(テレビで見る)	25、26
(編集のとき)	51
セルフタイマー録画	19
ゼロセットメモリー	43、61
選択/押決定ダイヤル	74

タ行

タイトル	66、70
タイトルサーチ	44
タイムコード	16
対面撮影	12
ダビング編集	51
つなぎ撮り	11
データコード	23
テープカウンター	43
テープ残量表示	16
テープの終わり表示	127
テープフォト撮影	27
デジタルエフェクト	35、42

手ぶれ補正	76
デモンストレーション	79
電源	8、9
(家庭用コンセント)	9
(自動車の電源)	9
(バッテリー)	8
トレイル	35

ナ行

二重音声放送テープ	116
-----------	-----

ハ行

倍速再生	24
バイリンガル	76
バッテリー	8
バッテリー残量表示	16
ピクチャーエフェクト	34、41
日付サーチ	46
日付・時刻合わせ	81
ピント合わせ	40
ファインダーの表示	137
フェーダー	32
フェードイン・フェードアウト	32
フォーカス	40
フォトサーチ	48
フォトスキャン	50
副音声	116
フラッシュモーション	35
プリントマーク	113
プログラムAE	37
プロテクト	108

ヘッド	130
ヘッドホン端子	135
ヘッド汚れ表示	130
編集	51
望遠	15
ホワイトバランス	30

マ行

満充電	6
メイン(音声)	76
メニュー	74
メモリークロマキー	94
“メモリースティック”	83
メモリーフォト撮影	90
メモリーミックス	94
メモリアルミキー	94
モノトーンフェーダー	32

ラ行

リモコン受光部	135
ルミナンスキー	35
連写	91
レンズフード	14

ワ行

ワイドTV	31
ワイヤレスリモコン	136

アルファベット順

ACアダプター/チャージャー	6
AV接続ケーブル	25、51、56
ID-1方式	31
ID-2方式	31
JPEG	83
LANC 端子	135
LASER AVLINK	26
NIGHTSHOT	17
NIGHTSHOT +スローシャッター	18
NTSC方式	129
RESET (リセット)ボタン	135
S1映像端子	25、51、56

ご案内

ソニーではお客様の技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター


電話： 0564-63-1177

受付時間： 月～金曜日 午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

Handycam Square (ハンディカム スクエア)


ハンディカムを楽しく使っていただくための情報や、最新サポート状況をご案内するホームページです。

<http://www.sony.co.jp/cam/>

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます） ●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311
●Fax：0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00